

これからの“とちぎ”づくりに関する若者意向調査報告書
【概要版】

平成26年8月

栃 木 県

目 次

I 調査概要	
1 調査目的	2
2 調査設計	2
3 回収結果	3
4 調査回答者プロフィール	4
II 調査結果	
1 栃木県のイメージ	8
2 栃木県への愛着	26
3 栃木県内への居住意向	33
4 栃木県が「住みたい」・「住み続けたい」と思われる 県になるために、今後、力を入れていく必要があると考える取組	39
5 これからの“とちぎ”づくりへの参加意欲	45
6 県政や次期プランに関する主な自由意見	47
III 参考資料	
これからの“とちぎ”づくりに関する若者意向調査票	51

調査報告書確認上の留意事項

- ・回答割合の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。このため、回答割合の合計が100%にならないこともあります。
- ・基数となる実数は、「n = XXXX」で表示してあります。
- ・複数回答を行う設問では、その回答割合の合計が100%を超えることがあります。
- ・本文及び図表では、設問や選択肢等の内容を簡略化して表記しています。
- ・クロス集計では、分析軸の「無回答」を掲載していないため、調査回答者の総数と分析軸の基数となる実数等が合致しないことがあります。

I 調 査 概 要

1 調査目的

これからの“とちぎ”づくりを担う高校生が考える栃木県のイメージや、栃木県がより多くの者から「住みたい」と思われる県になるため、今後、力を入れていくべき取組などを把握し、次期プラン策定に当たっての参考とする。

2 調査設計

(1) 調査対象者

栃木県内の県立及び私立高等学校に在学する2学年生

(2) 調査対象者の抽出方法及び調査実施方法

栃木県内の全日制高等学校から、県立・私立高等学校の別、学科、学校所在地、男女の生徒数のバランスを考慮し、次の30校を抽出の上、同校の2学年生の1クラスを対象に、アンケート方式により調査を実施した。

<< 調査対象高等学校一覧 >>

県立高等学校 (21校)	私立高等学校 (9校)
宇都宮東高等学校【普通科】	作新学院高等学校
宇都宮清陵高等学校【普通科】	【英進部英進選抜クラス】
宇都宮白楊高等学校【農業経営科】	作新学院高等学校
宇都宮商業高等学校【商業科】	【情報科学部電気・電子システム科】
鹿沼高等学校【普通科】	文星芸術大学附属高等学校
日光明峰高等学校【普通科】	【英進科】
栃木高等学校【普通科】	宇都宮文星女子高等学校
小山高等学校【普通科】	【総合ビジネス学科】
栃木農業高等学校【農業科】	宇都宮短期大学附属高等学校
栃木商業高等学校【商業科】	【生活教養科】
小山北桜高等学校【生活文化科】	國學院大學栃木高等学校
佐野東高等学校【普通科】	【普通科】
足利工業高等学校【機械科】	青藍泰斗高等学校
佐野松桜高等学校【社会福祉科】	【普通科】
足利南高等学校【総合学科】	白鷗大学足利高等学校
真岡女子高等学校【普通科】	【本校舎普通科】
茂木高等学校【総合学科】	矢板中央高等学校
烏山高等学校【普通科】	【普通科】
黒磯高等学校【普通科】	
黒羽高等学校【普通科】	
那須清峰高等学校【情報技術科】	

※【 】は、調査対象学科

(3) 標 本 数

1,200人〔算出基礎：40人/クラス×30クラス〕

(4) 調 査 内 容

問	設 問 内 容	摘 要
1	栃木県のイメージ〔自然環境や産業など、全9区分〕	
2－(1)	栃木県や県内の市町村への愛着	
2－(2)	栃木県や県内の市町村に愛着を感じない理由	
3－(1)	栃木県内への居留意向	時系列調査
3－(2)	栃木県内に「住みたい」と思う理由	
4	栃木県が「住みたい」・「住み続けたい」と思われる県になるために、今後、力を入れていく取組	
5	これからの“とちぎ”づくりへの参加意欲	時系列調査
6	県政や次期プランに関する自由意見	

(5) 調 査 期 間

平成26年6月10日から同月30日まで（21日間）

3 回 収 結 果

回収数（回収率） 1,113人（92.8%）

【単位：人、（ ）は、全体に占める割合〔%〕】

区 分	男 性	女 性	無回答	計
回 収 数	508 (45.6)	597 (53.6)	8 (0.7)	1,113 (100)

4 調査回答者プロフィール

(1) 専攻学科と性別

【単位：人、（ ）は、全体に占める割合〔%〕】

区 分	男 性	女 性	無回答	計
普通科	320 (28.8)	306 (27.5)	1 (0.1)	627 (56.4)
職業系専門学科	155 (13.9)	237 (21.3)	1 (0.1)	393 (35.3)
総合学科	32 (2.9)	53 (4.8)	0 (0.0)	85 (7.6)
無回答	1 (0.1)	1 (0.1)	6 (0.5)	8 (0.7)
計	508 (45.6)	597 (53.6)	8 (0.7)	1,113 (100)

※ 普通科には、理数科、英語科、美術科、体育科などの専門学科を含む。

職業系専門学科は、農業系、工業系、商業系、家庭系、福祉系学科等をいう。

(2) 家族形態と性別

【単位：人、（ ）は、全体に占める割合〔%〕】

区 分	男 性	女 性	無回答	計
核家族	323 (29.0)	348 (31.3)	2 (0.2)	673 (60.5)
拡大家族	165 (14.8)	223 (20.0)	0 (0.0)	388 (34.9)
その他	7 (0.6)	9 (0.8)	0 (0.0)	16 (1.4)
無回答	13 (1.2)	17 (1.5)	6 (0.5)	36 (3.2)
計	508 (45.6)	597 (53.6)	8 (0.7)	1,113 (100)

※ 拡大家族は、調査回答者とその親、祖父母等の3世代以上で同居する家族をいう。

(3) 居住地域と性別

【単位：人、（ ）は、全体に占める割合〔%〕】

区 分	男 性	女 性	無回答	計
宇都宮地域	100 (9.0)	140 (12.6)	0 (0.0)	240 (21.6)
上都賀地域	54 (4.9)	53 (4.8)	0 (0.0)	107 (9.6)
芳賀地域	30 (2.7)	56 (5.0)	0 (0.0)	86 (7.7)
下都賀地域	103 (9.3)	145 (13.0)	0 (0.0)	248 (22.3)
塩谷南那須地域	37 (3.3)	41 (3.7)	0 (0.0)	78 (7.0)
那須地域	81 (7.3)	50 (4.5)	2 (0.2)	133 (12.0)
安足地域	83 (7.5)	93 (8.4)	0 (0.0)	176 (15.8)
県外	20 (1.8)	19 (1.7)	0 (0.0)	39 (3.5)
無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (0.5)	6 (0.5)
計	508 (45.6)	597 (53.6)	8 (0.7)	1,113 (100)

- ※ 宇都宮地域 : 宇都宮市及び上三川町 (1 市 1 町)
 上都賀地域 : 日光市及び鹿沼市 (2 市)
 芳賀地域 : 真岡市、益子町、茂木町、市貝町及び芳賀町 (1 市 4 町)
 下都賀地域 : 栃木市、小山市、下野市、壬生町及び野木町 (3 市 2 町)
 塩谷南那須地域 : 矢板市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町及び
 那珂川町 (3 市 3 町)
 那須地域 : 大田原市、那須塩原市及び那須町 (2 市 1 町)
 安足地域 : 足利市及び佐野市 (2 市)

II 調查結果

1 栃木県のイメージ

(1) 自然環境

概 括

- 全体及び男女別において、90%以上の者が、栃木県は「自然環境に恵まれていると思う」と回答した。
- 居住地域別では、宇都宮地域に居住する者の「自然環境に恵まれていると思う」と回答した割合が、他の地域と比較して、やや低かった。
- 県外に居住する者についても、県民と同様に、約90%の者が、栃木県は「自然環境に恵まれていると思う」と回答した。

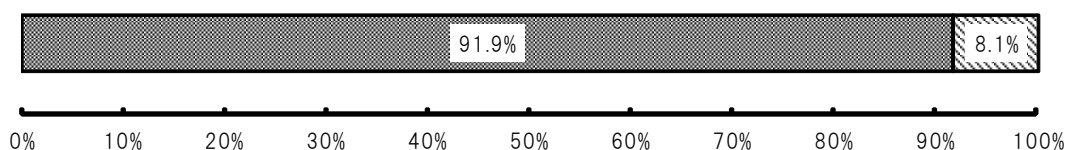
【設 問】

栃木県は、自然環境に恵まれていると思いますか？

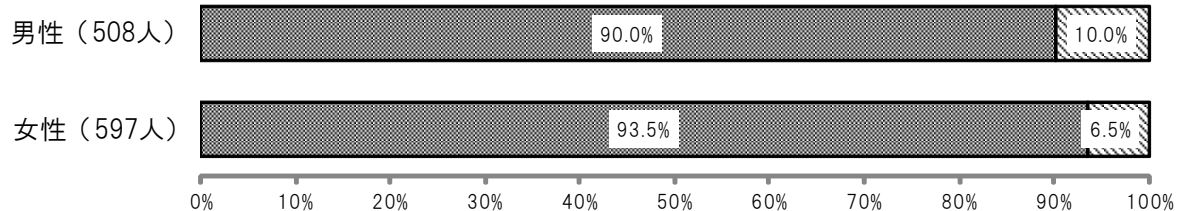
【回答結果】

■ そう思う ■ そう思わない

<全体集計> (n=1,113)

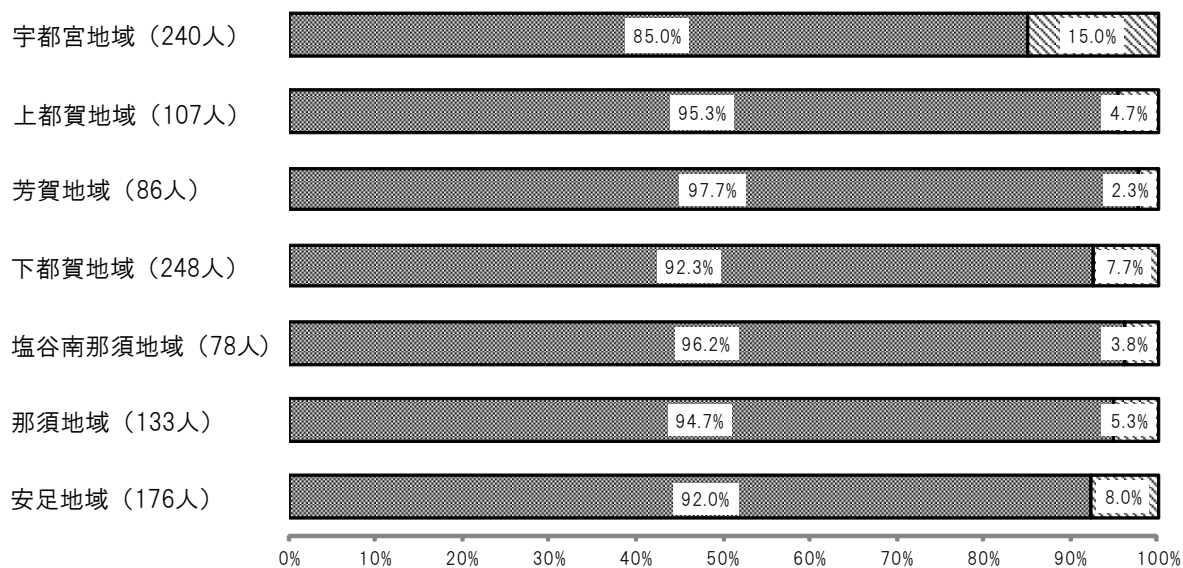


<男女別集計> (n=1,105)



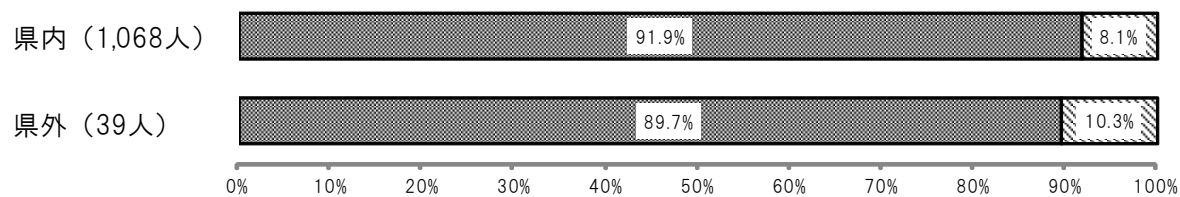
<県内地域別集計>

(n=1,068)



<県内・県外別集計>

(n=1,107)



(2) 災害

概 括

- 全体及び男女別において、70%以上の者が、栃木県は「災害が少ないと思う」と回答した。
- 居住地域別では、他の地域と比較して、那須地域及び安足地域に居住する者の「災害が少ないと思う」と回答した割合が高く、塩谷南那須地域では低かった。
- 県外に居住する者についても、県民と同様に、約70%の者が、栃木県は「災害が少ないと思う」と回答した。

【設 問】

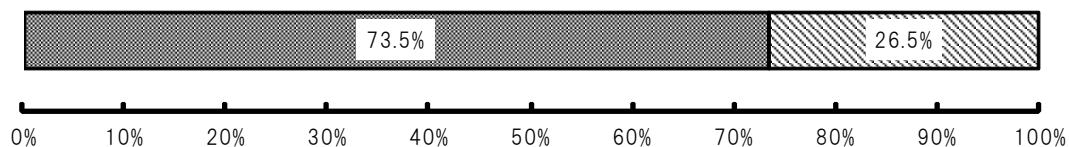
栃木県は、災害が少ないと思いますか？

【回答結果】

■ そう思う ■ そう思わない ■ 無回答

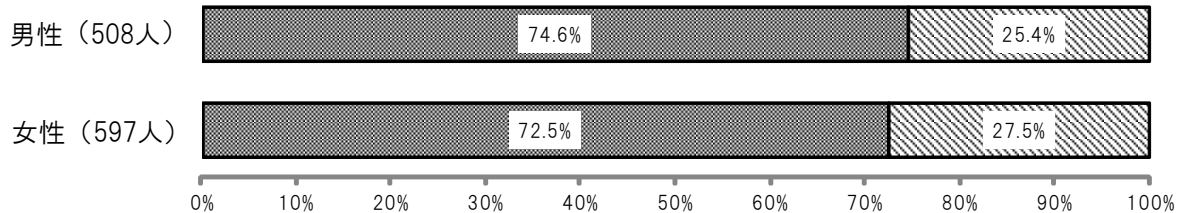
<全体集計>

(n=1,113)



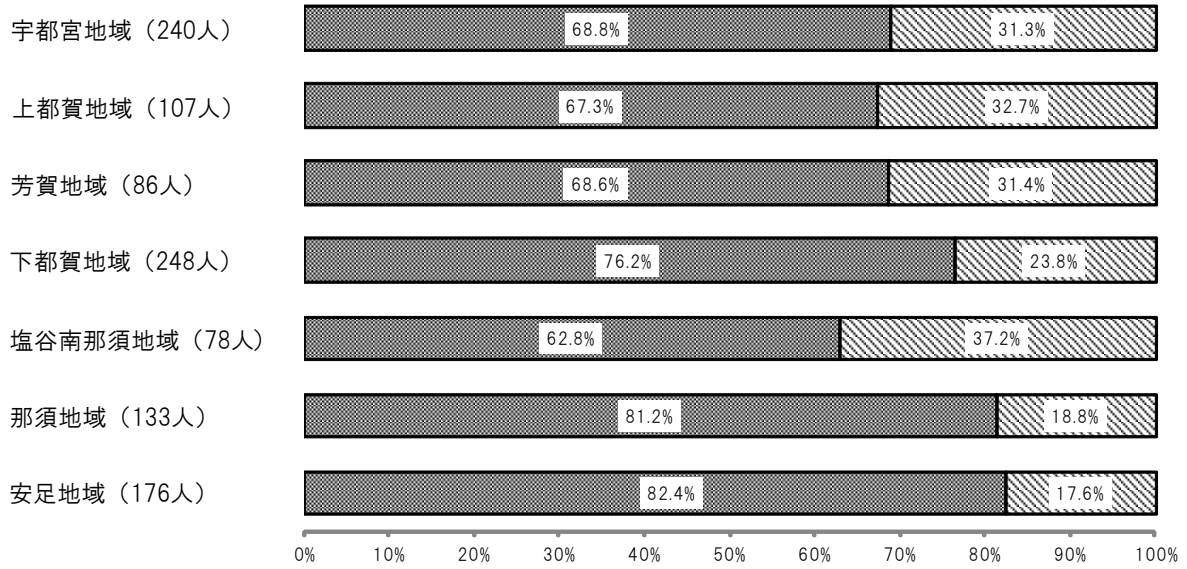
<男女別集計>

(n=1,105)



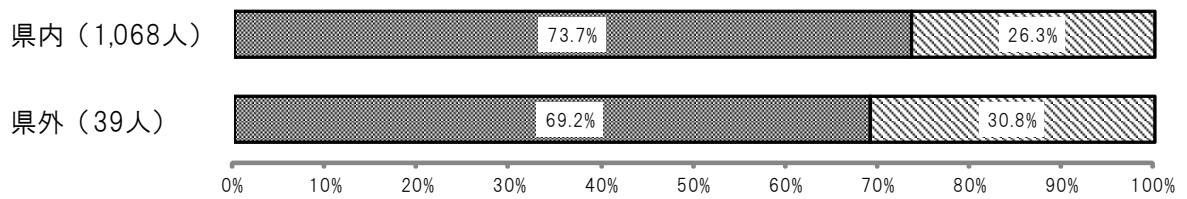
<県内地域別集計>

(n=1,068)



<県内・県外別集計>

(n=1,107)



(3) 産業

概 括

- 全体及び男女別において、60%以上の者が、栃木県は「産業がバランスよく発展していると思う」と回答した。
- 居住地域別では、他の地域と比較して、宇都宮地域及び芳賀地域に居住する者の「産業がバランスよく発展していると思う」と回答した割合がやや高く、塩谷南那須地域ではやや低かった。
- 県外に居住する者についても、県民と同様に、約60%の者が、栃木県は「産業がバランスよく発展していると思う」と回答した。

【設 問】

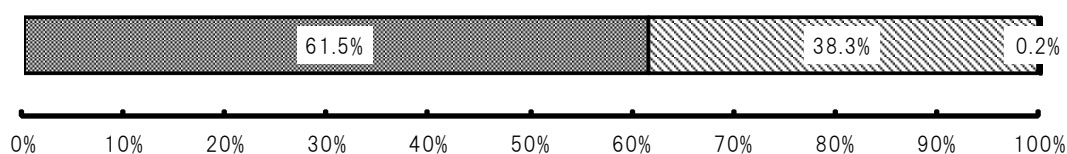
栃木県は、商工業や農林業などの産業がバランスよく発展していると思いますか？

【回答結果】

■ そう思う ■ そう思わない ■ 無回答

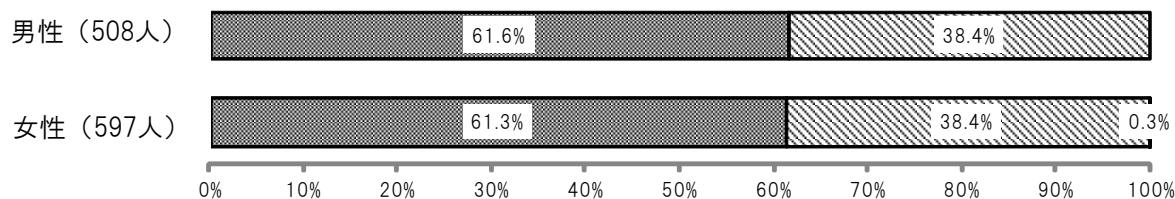
<全体集計>

(n=1,113)



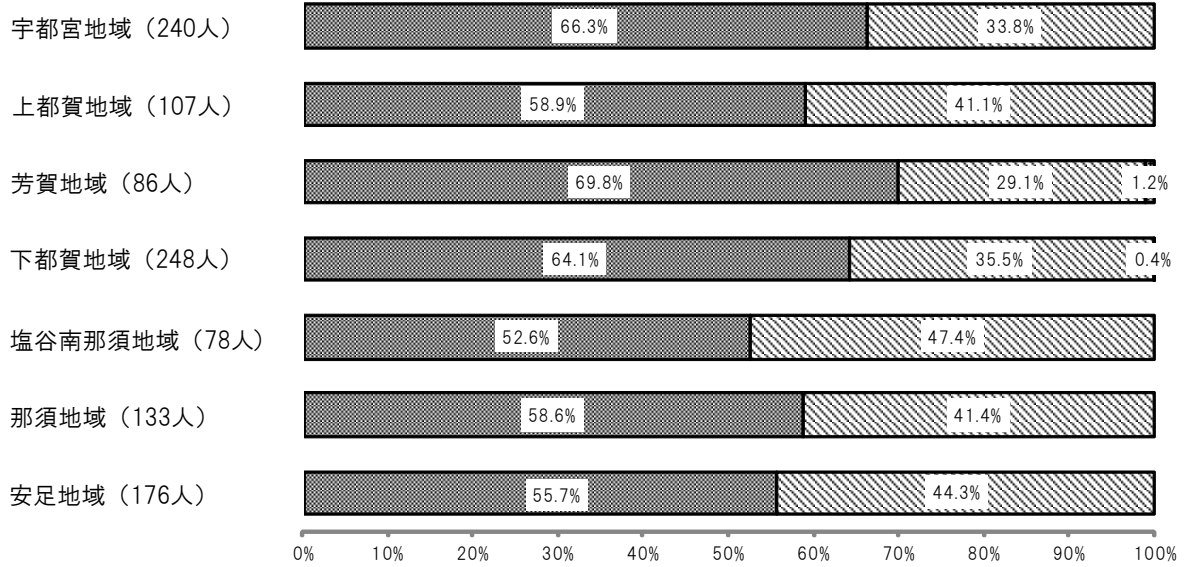
<男女別集計>

(n=1,105)



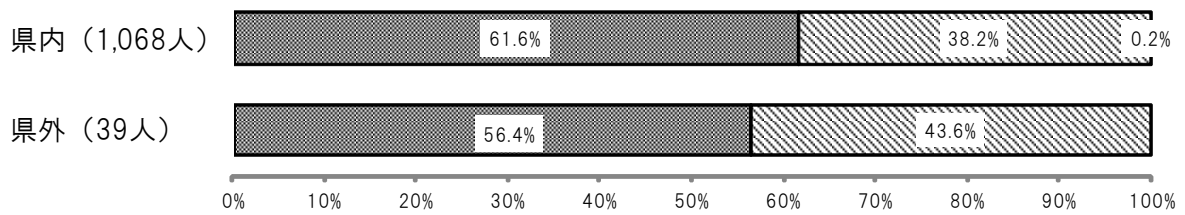
<県内地域別集計>

(n=1,068)



<県内・県外別集計>

(n=1,107)



(4) 歴史遺産・伝統文化

概 括

- 全体において、約80%の者が、栃木県には「優れた歴史遺産や伝統文化があると思う」と回答した。
- 男女別では、「優れた歴史遺産や伝統文化があると思う」と回答した割合は男性の約78%に対して、女性は約83%と女性の評価がやや高かった。
- 居住地域別では、他の地域と比較して、上都賀地域及び安足地域に居住する者の「優れた歴史遺産や伝統文化があると思う」と回答した割合が高く、那須地域では低かった。
- 県外に居住する者についても、約70%の者が、栃木県には「優れた歴史遺産や伝統文化があると思う」と回答した。

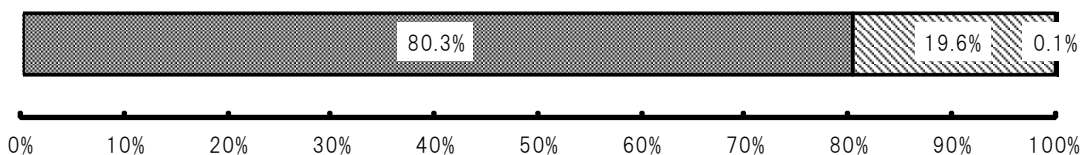
【設 問】

栃木県には、優れた歴史遺産や伝統文化があると思いますか？

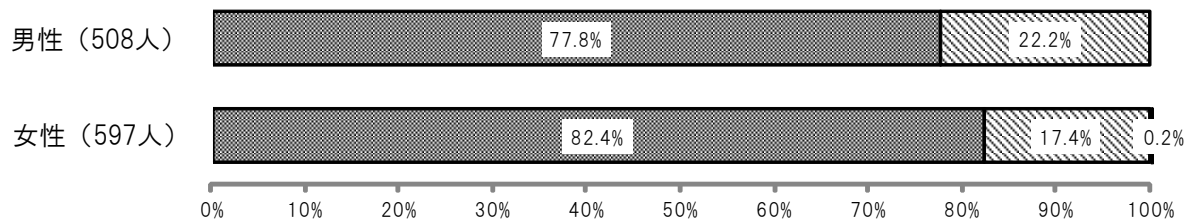
【回答結果】

■ そう思う ■ そう思わない ■ 無回答

<総 数> (n=1,113)

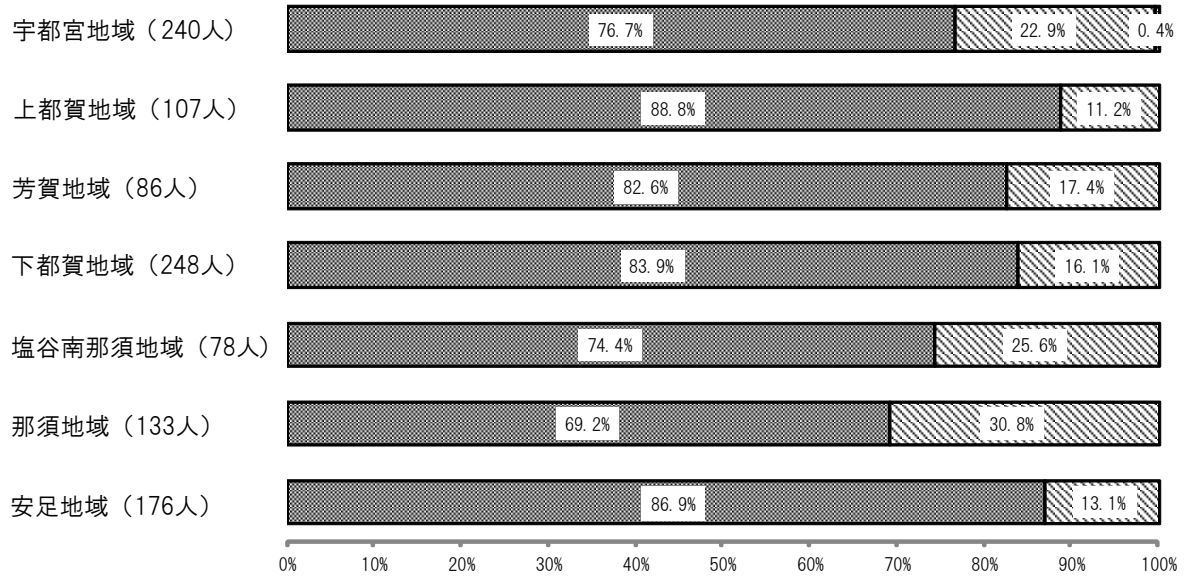


<男女別集計> (n=1,105)



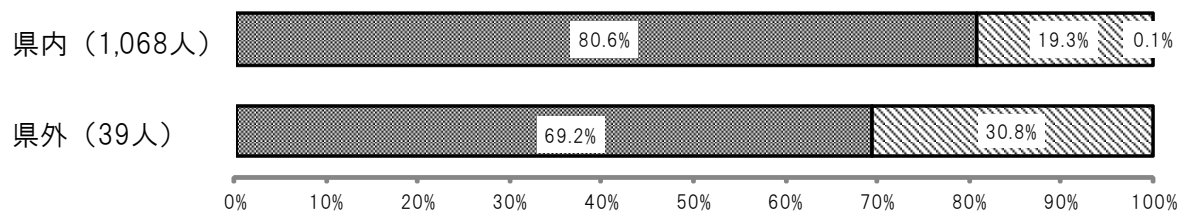
<県内地域別集計>

(n=1,068)



<県内・県外別集計>

(n=1,107)



(5) 商業・娯楽施設及び文化・スポーツ施設

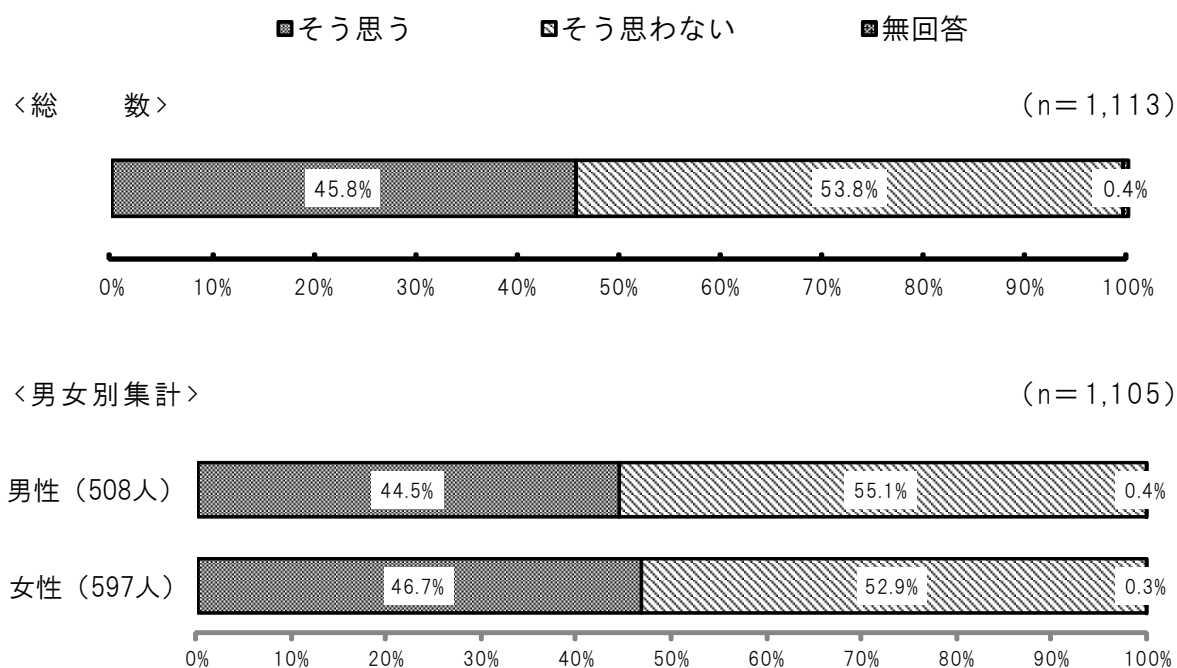
概 括

- 全体及び男女別において、栃木県は「商業・娯楽施設及び文化・スポーツが整備されていると思う」と回答した者の割合は50%に満たず、「思わない」と回答した者の割合が上回った。
- 居住地域別では、宇都宮地域においてのみ、「商業・娯楽施設及び文化・スポーツが整備されていると思う」と回答した者の割合が、「思わない」と回答した者の割合を上回った。
- 県外に居住する者については、約60%の者が、栃木県は「商業・娯楽施設及び文化・スポーツ施設が整備されていると思う」と回答し、県民の評価より高かった。

【設 問】

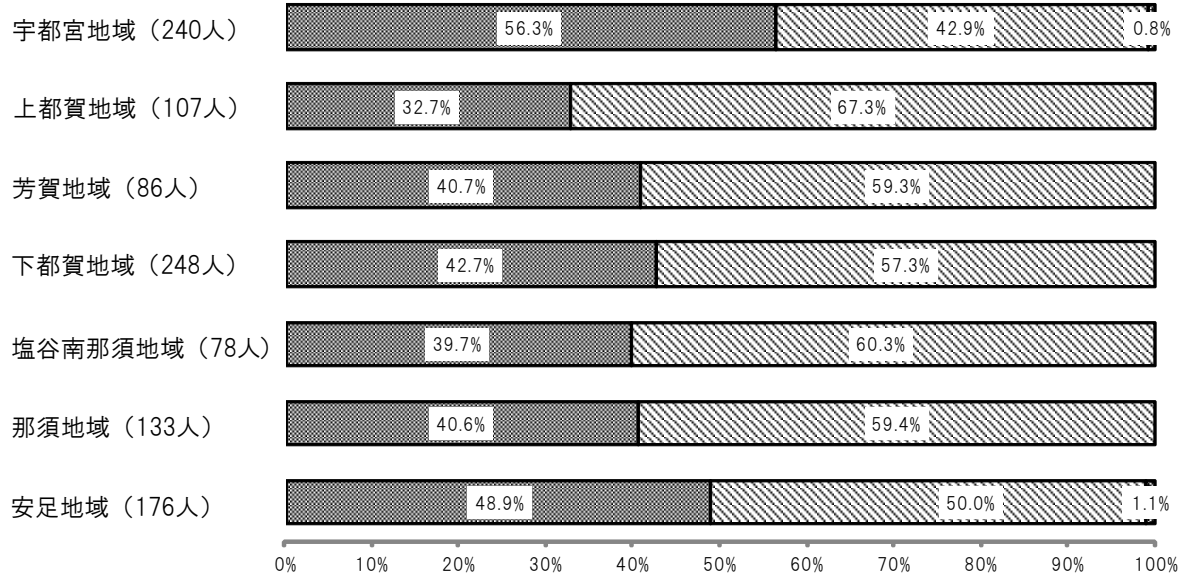
栃木県は、商業・娯楽施設や文化・スポーツ施設が整備されていると思いますか？

【回答結果】



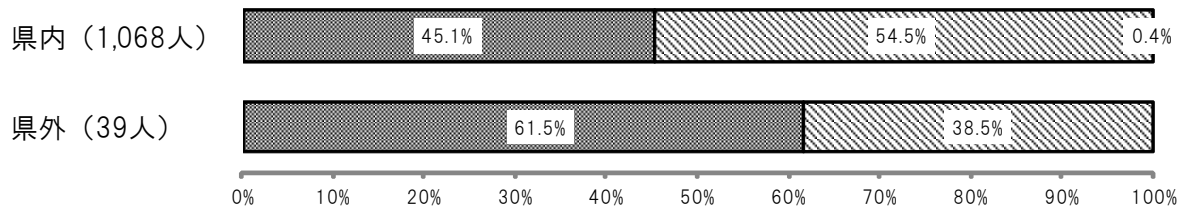
<県内地域別集計>

(n=1,068)



<県内・県外別集計>

(n=1,107)



(6) 交通網

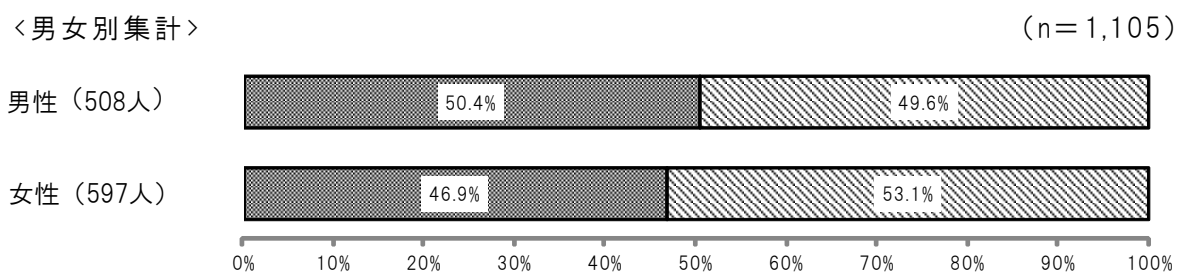
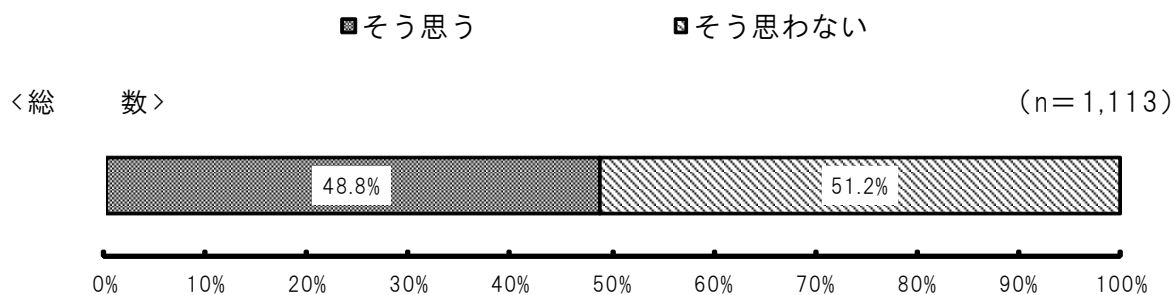
概 括

- 全体において、栃木県は「道路や公共交通機関が発達していると思う」と回答した者の割合は50%に満たず、「思わない」と回答した者の割合が上回った。
- 居住地域別では、宇都宮地域においてのみ「道路や公共交通機関が発達していると思う」と回答した者の割合が、「思わない」と回答した者の割合を上回った。

【設 問】

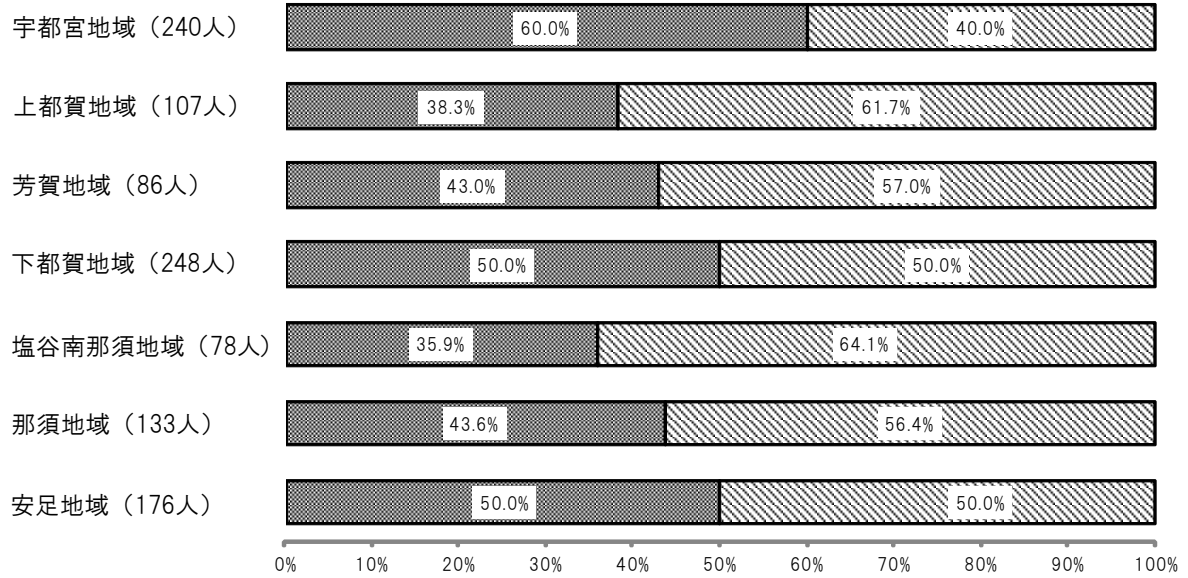
栃木県では、道路や公共交通機関が発達していると思いますか？

【回答結果】



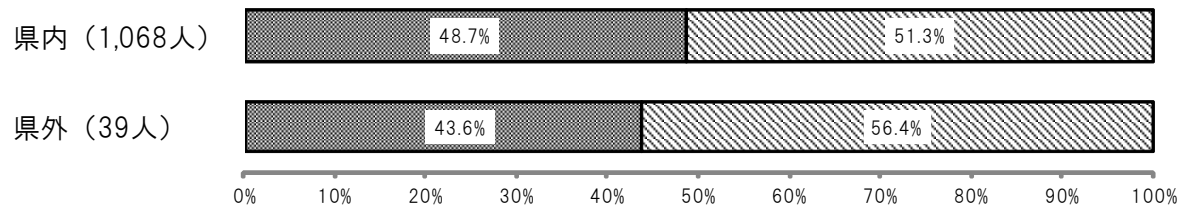
<県内地域別集計>

(n=1,068)



<県内・県外別集計>

(n=1,107)



(7) 食

概 括

- 全体では、約80%の者が、栃木県は「おいしい食べ物が豊富であると思う」と回答した。
- 男女別では、「おいしい食べ物が豊富であると思う」と回答した割合は、男性の約70%に対して、女性は80%以上となっており、女性の評価が高かった。
- 居住地域別では、他の地域と比較して、宇都宮地域及び芳賀地域に居住する者の「おいしい食べ物が豊富であると思う」と回答した割合がやや高かった。
- 県外に居住する者についても、約70%の者が栃木県は「おいしい食べ物が豊富であると思う」と回答した。

【設 問】

栃木県は、おいしい食べ物が豊富であると思いますか？

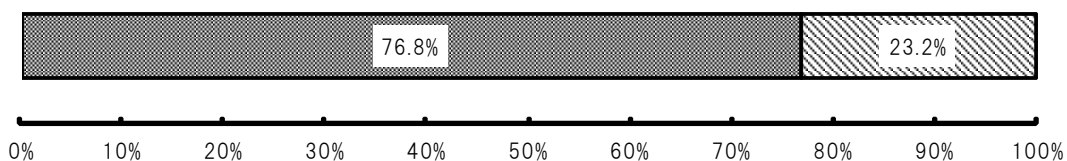
【回答結果】

■ そう思う

▨ そう思わない

<総 数>

(n=1,113)



<男女別集計>

(n=1,105)

男性 (508人)

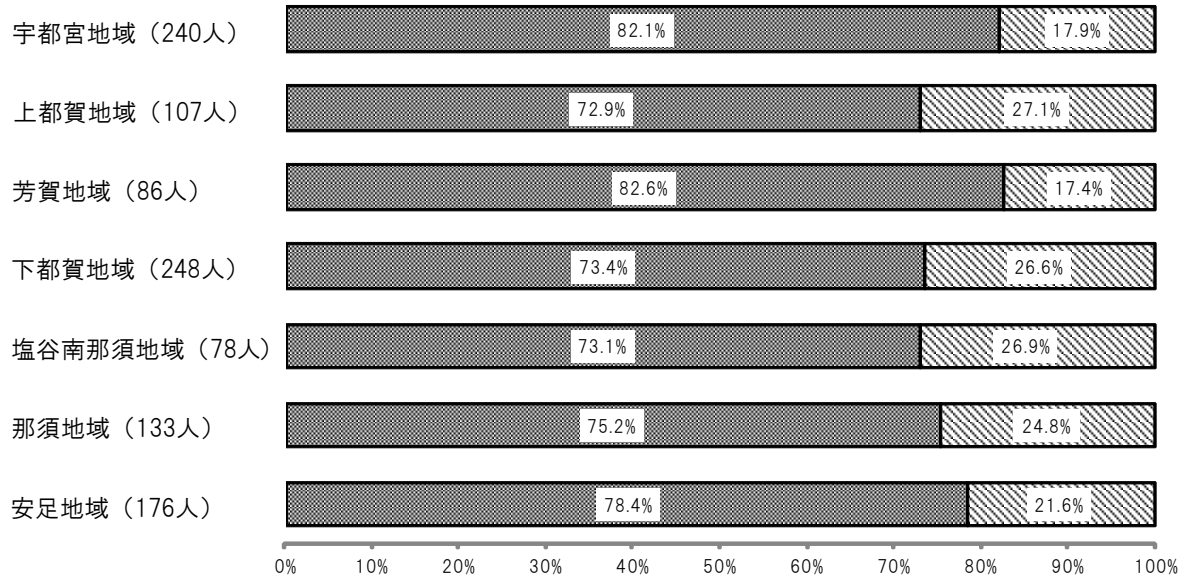


女性 (597人)



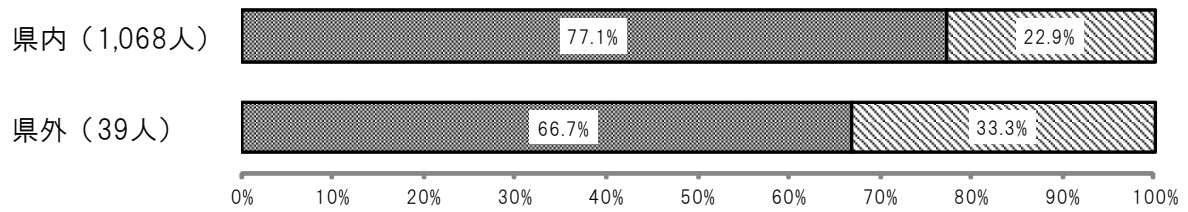
<県内地域別集計>

(n=1,068)



<県内・県外別集計>

(n=1,107)



(8) 観光資源

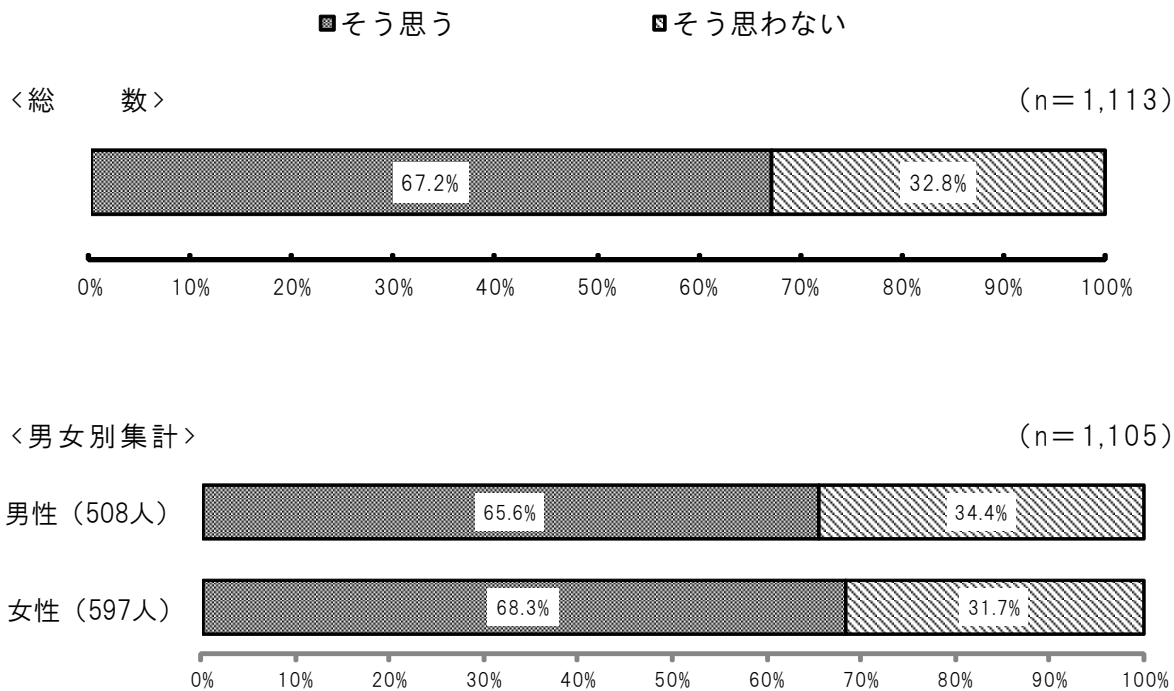
概 括

- 全体及び男女別において、約70%の者が、栃木県は「観光資源が豊富であると思う」と回答した。
- 居住地域別では、他の地域と比較して、上都賀地域及び那須地域に居住する者の「観光資源が豊富であると思う」と回答した割合が高く、安足地域では低かった。
- 県外に居住する者については、約60%の者が、栃木県は「観光資源が豊富であると思う」と回答した。

【設 問】

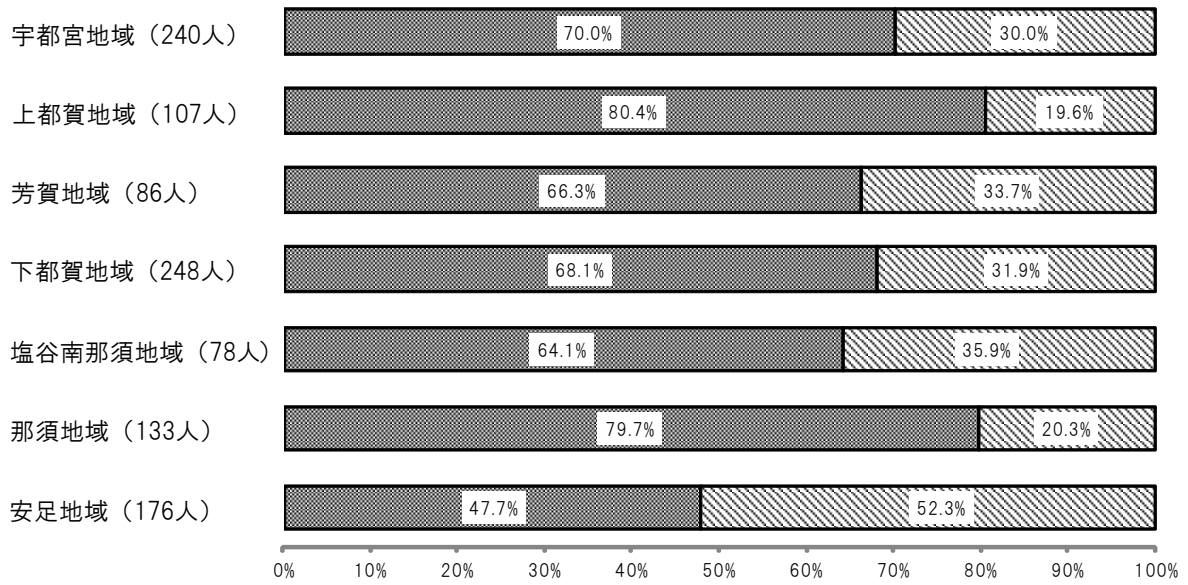
栃木県は、温泉や景勝地などの観光資源が豊富であると思いますか？

【回答結果】



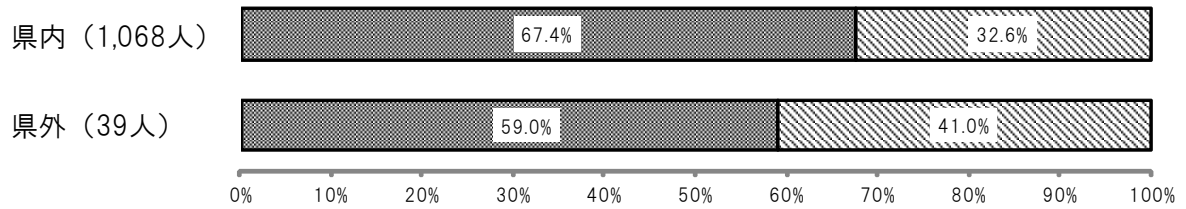
< 県内地域別集計 >

(n = 1,068)



< 県内・県外別集計 >

(n = 1,107)



(9) 人情

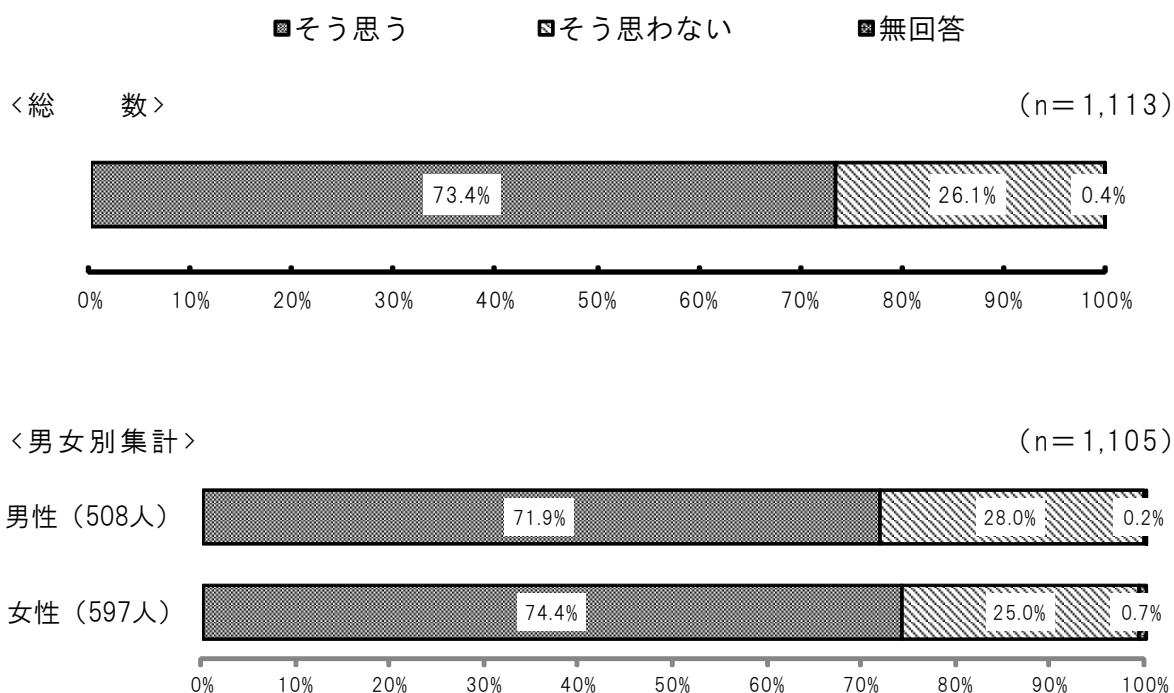
概 括

- 全体及び男女別においては、70%以上の者が「県民に人情味があると思う」と回答した。
- 居住地域別では、他の地域と比較して、芳賀地域に居住する者の「県民に人情味があると思う」と回答した割合が高く、宇都宮地域ではやや低かった。
- 県外に居住する者についても、県民と同様に、約70%の者が「県民に人情味があると思う」と回答した。

【設 問】

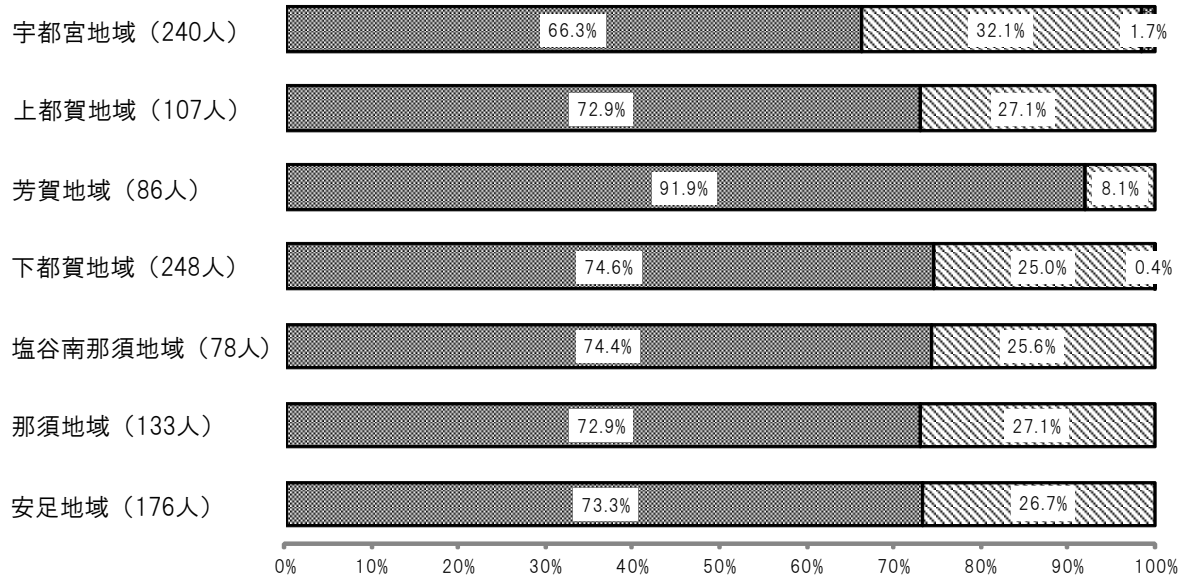
栃木県民は、人情味があると思いますか？

【回答結果】



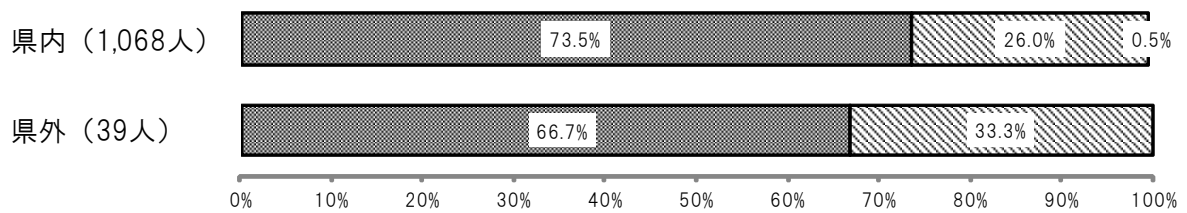
<県内地域別集計>

(n=1,068)



<県内・県外別集計>

(n=1,107)



2 栃木県への愛着

(1) 栃木県や県内の市町村への愛着

概 括

- 全体において、約72%の者が栃木県に「愛着を感じている」（「とても感じている」又は「やや感じている」と回答しており、20歳以上を対象に実施した栃木県に関するイメージ調査（県内調査）の結果（約71%）と同様の傾向が示された。
- 居住地域別では、那須地域に居住する者の栃木県に「愛着を感じている」と回答した割合が、他の地域と比較して、やや低かった。
- 県外に居住する者についても、60%以上の者が栃木県に「愛着を感じている」と回答した。
- 家族形態別では、核家族世帯又は拡大家族世帯の別によって、栃木県への愛着に差は見られなかった。

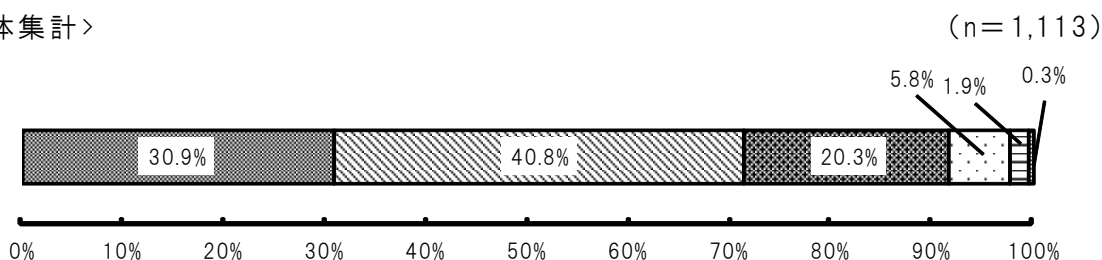
【設 問】

あなたは、あなたの住む栃木県や県内の市町村に愛着や親しみを感じますか？

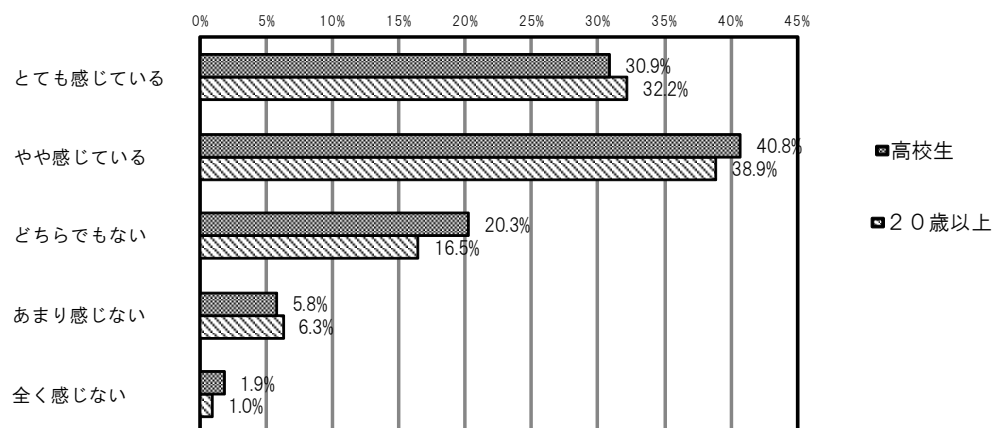
【回答結果】

- とても感じている
- やや感じている
- どちらでもない
- あまり感じない
- 全く感じない
- 無回答

<全体集計>

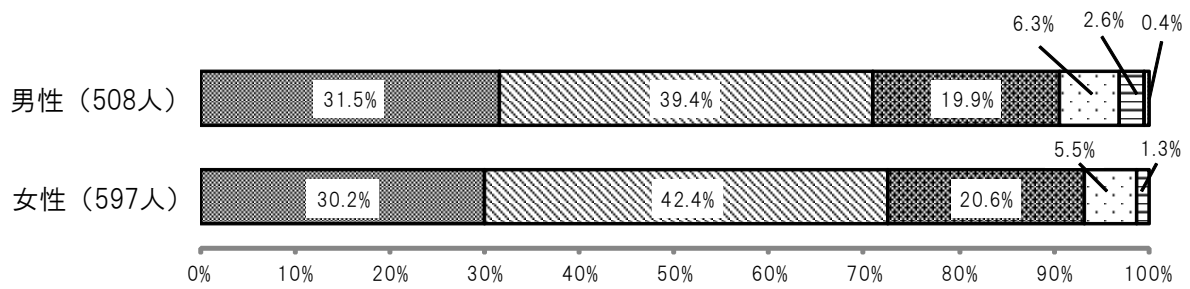


—参考：栃木県に関するイメージ調査（県内調査）結果（平成25年度）との比較—



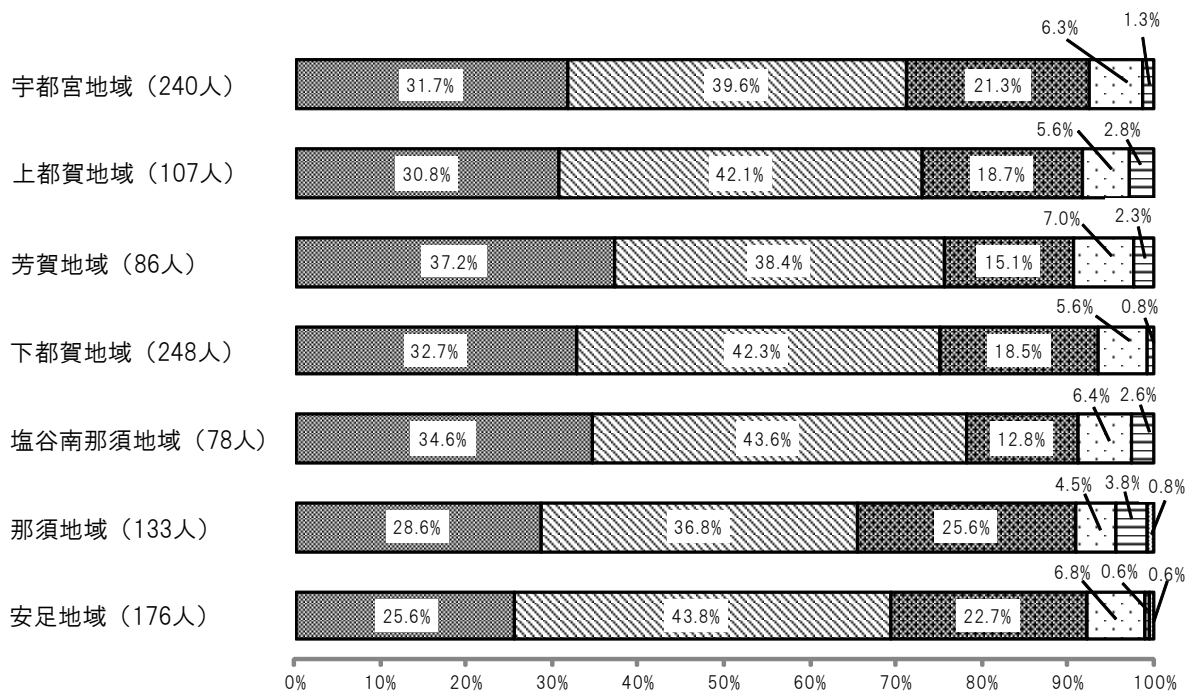
<男女別集計>

(n=1,105)



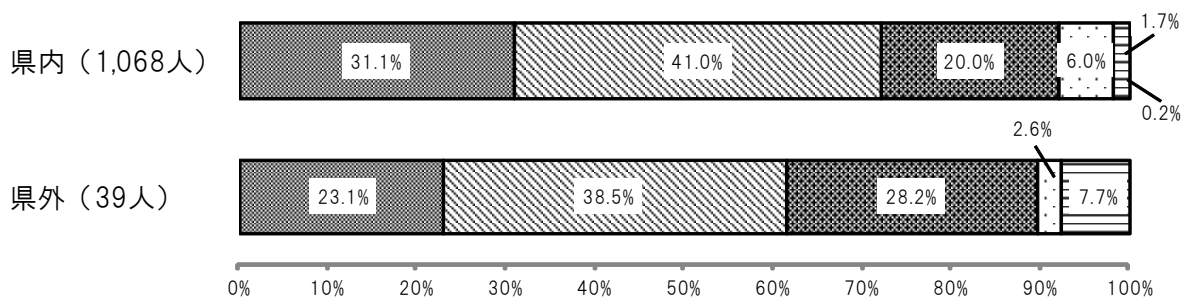
<県内地域別集計>

(n=1,068)



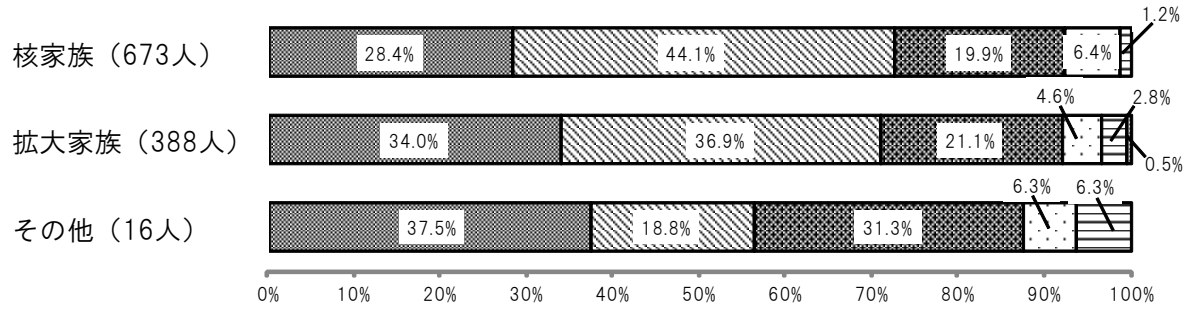
<県内・県外別集計>

(n=1,107)



<家族形態別集計>

(n=1,077)



(2) 栃木県や県内の市町村に愛着を感じない理由

概 括

- 栃木県に愛着を感じない理由は、「生活が不便」や「他県に誇れるものがない」、「東京などの都会への憧れ」などが上位に挙げられた。
- 男女別の比較では、男性は「栃木県のことをよく知らない」が女性と比較して、女性では「生活が不便」や「東京などの都会への憧れ」、「他県に誇れるものがない」が男性と比較して高かった。
- 地域別では、宇都宮地域においては「他県に誇れるものがない」、上都賀地域においては「その他」と回答した者の割合が高く、その他の地域では「生活が不便」と回答した者の割合が最も高かった。

【設 問】

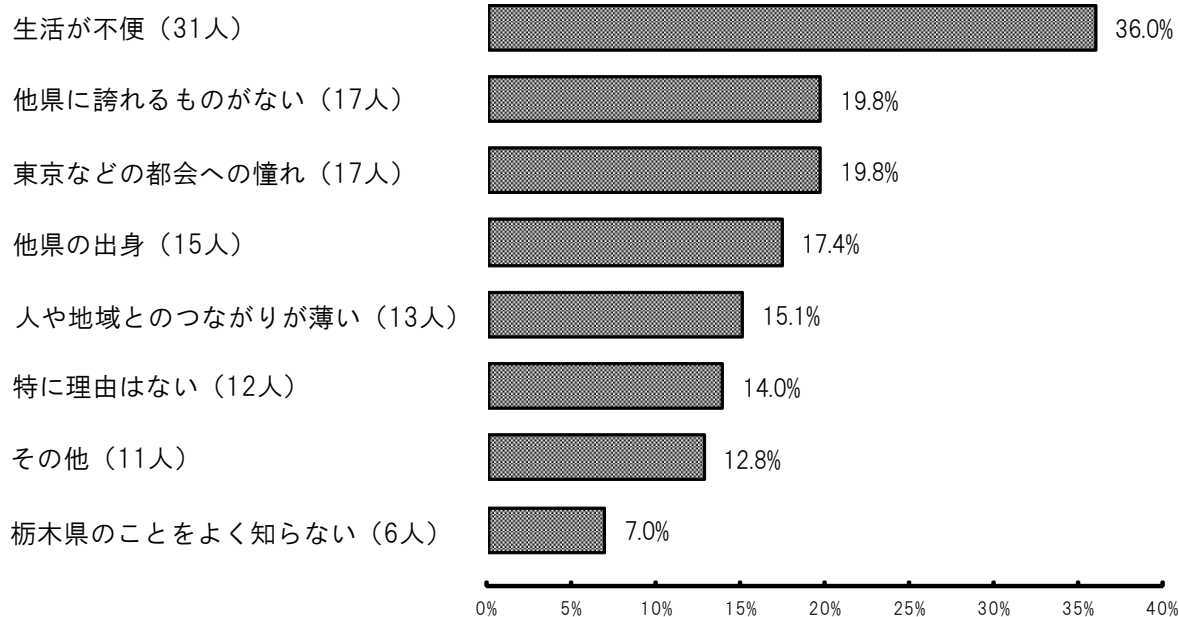
あなたが、栃木県や県内の市町村に愛着を感じない理由は何ですか？

【回答結果】

<全体集計>

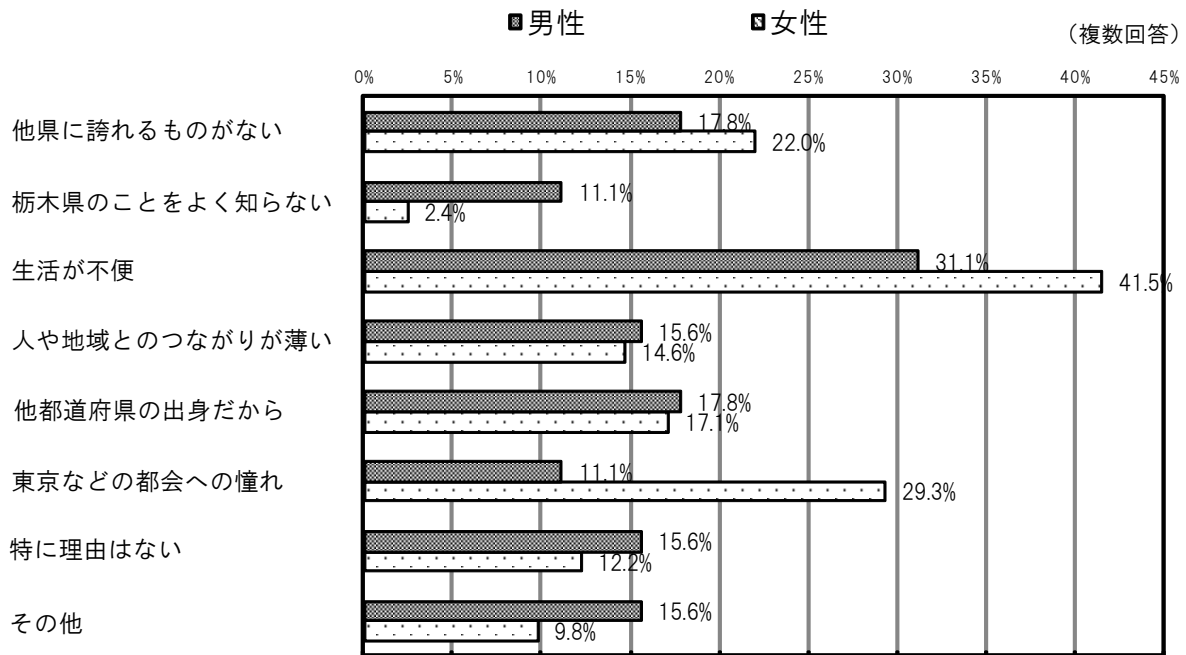
(n=122)

(複数回答)



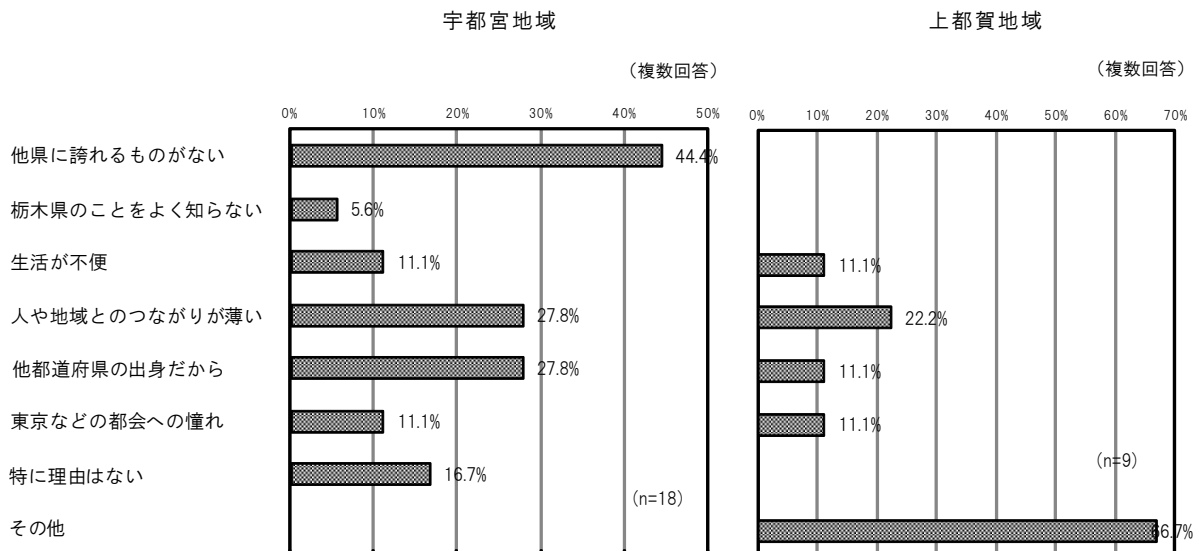
<男女別集計>

(n=122)



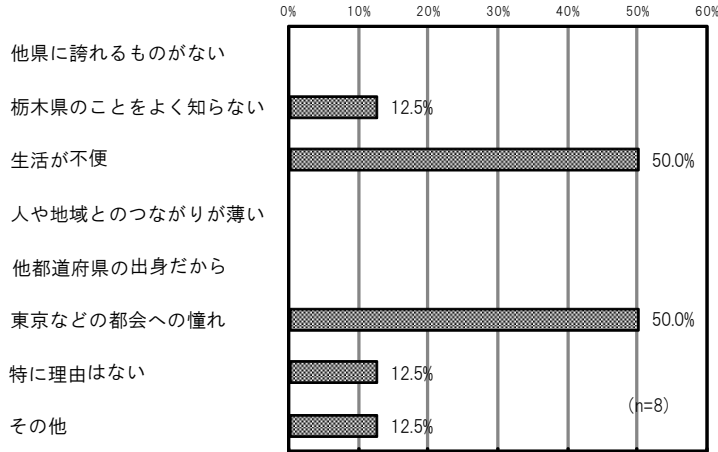
<県内地域別集計>

(n=86)



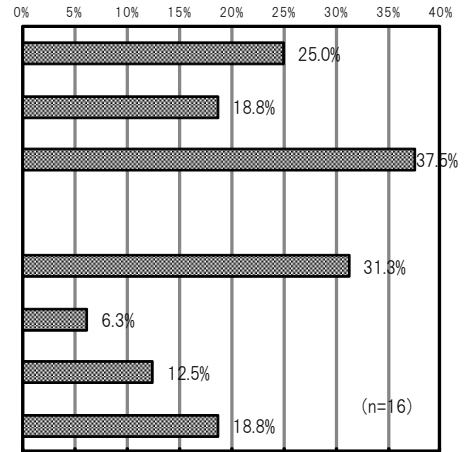
芳賀地域

(複数回答)



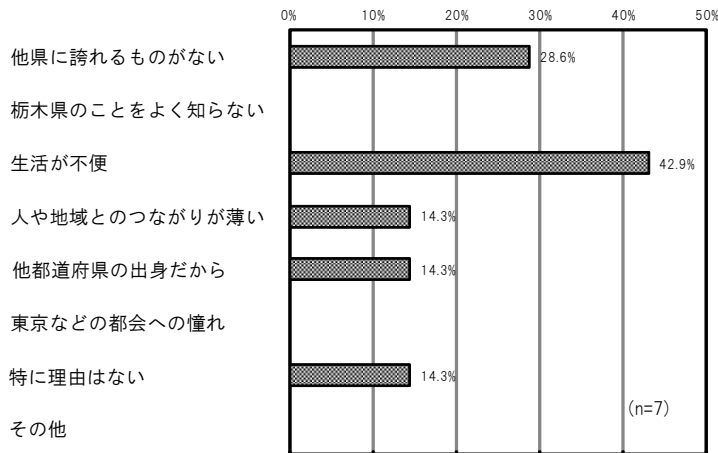
下都賀地域

(複数回答)



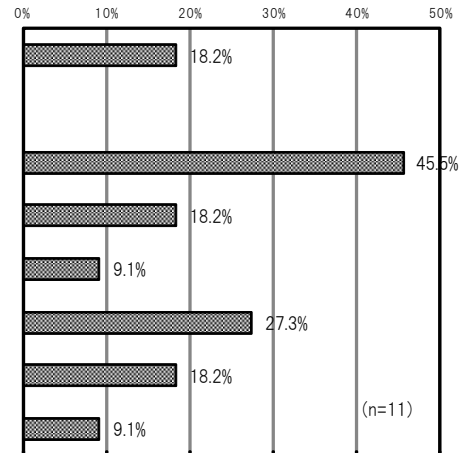
塩谷南那須地域

(複数回答)



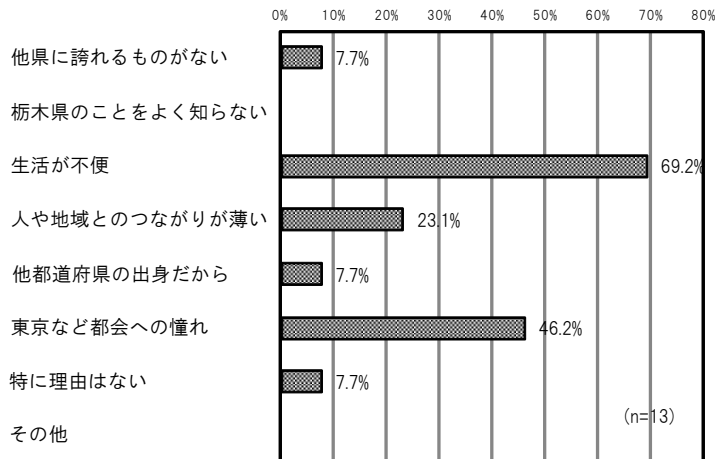
那須地域

(複数回答)



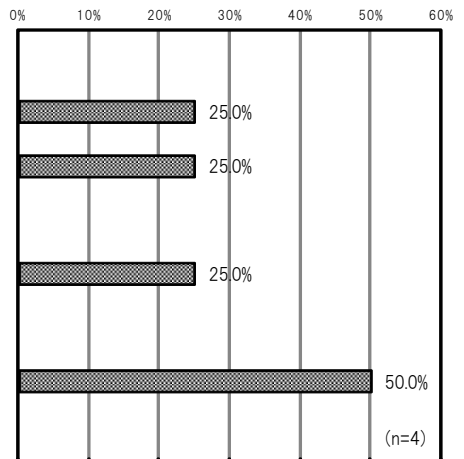
安足地域

(複数回答)



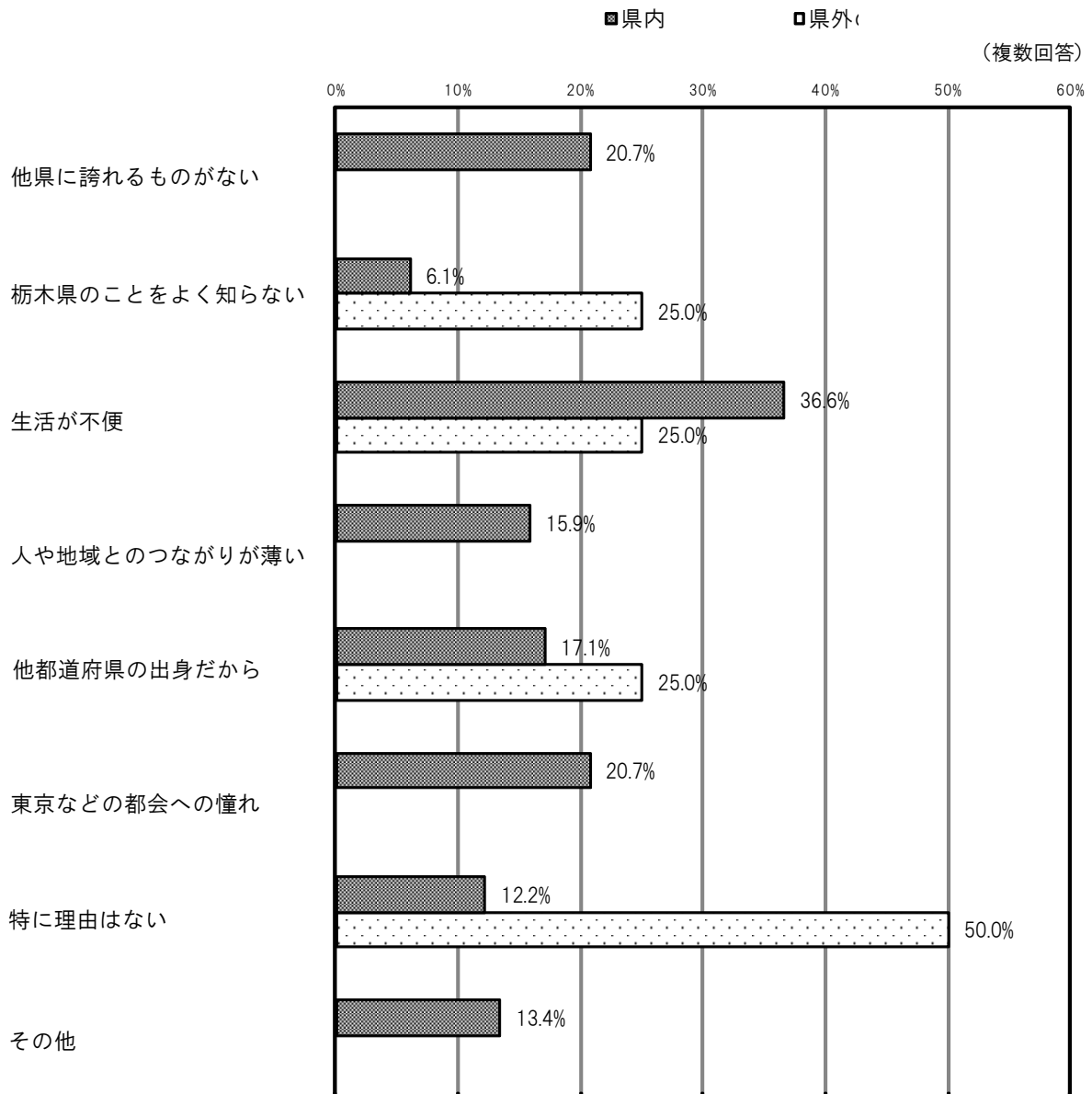
県外

(複数回答)



〈県内・県外別集計〉

(n=86)



〈その他の主な内容〉

- 古い街ならではの良さがあるのに、新しい建物などを造り、その良さを壊しているから（上都賀地域・女性）
- 娯楽施設が少ないから（那須地域・女性）
- 人や地域とのつながりが強すぎる場所に住んでいるから（上都賀地域・女性）
- 何もかもが中途半端（下都賀地域・男性）
- 自然が少ない（上都賀地域・男性）

3 栃木県内への居留意向

(1) 栃木県内への居留意向

概 括

- 栃木県内に「住みたい」（「住み続けたい・住んでみたい」又は「将来は戻ってきて住みたい」）と回答した者の割合は約54%であり、前回調査結果の約41%と比較して、その割合は増加した。
- 男女別では、栃木県内に「住みたい」と回答した割合は男性の約50%に対して、女性は約57%であり、女性の評価がやや高かった。
- 地域別では、上都賀地域に居住する者の「住みたい」と回答した割合が、他の地域と比較して、やや高かった。
- 家族形態別では、核家族世帯の者より、拡大家族世帯の者の方が「住みたい」と回答した割合がやや高かった。

【設 問】

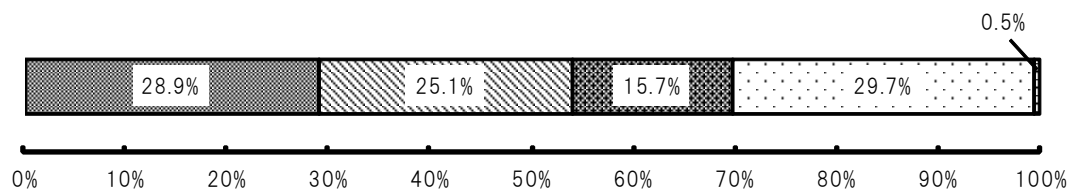
あなたは、栃木県内に住みたい・住み続けたいと思いますか？

【回答結果】

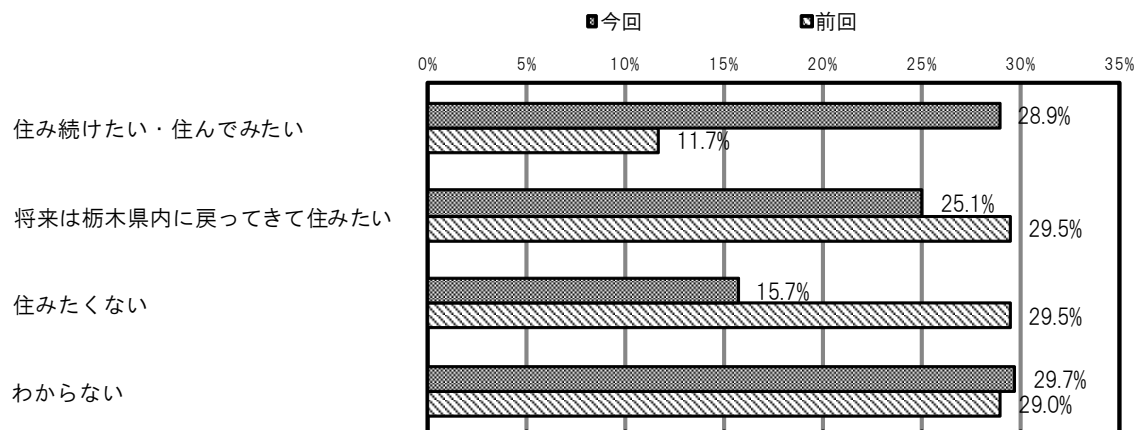
■住み続けたい・住んでみたい ■栃木県内に戻ってきて住みたい ■住みたくない ■わからない ■無回答

<全体集計>

(n=1,113)

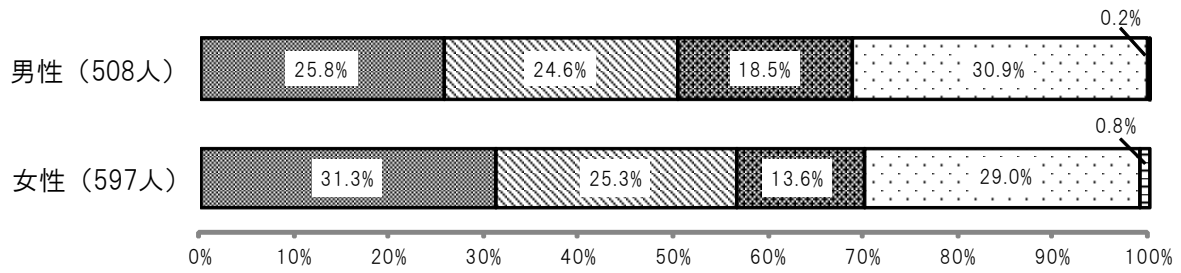


—参考：これからのとちぎづくりに関する若者意向調査結果(平成21年度)との比較—



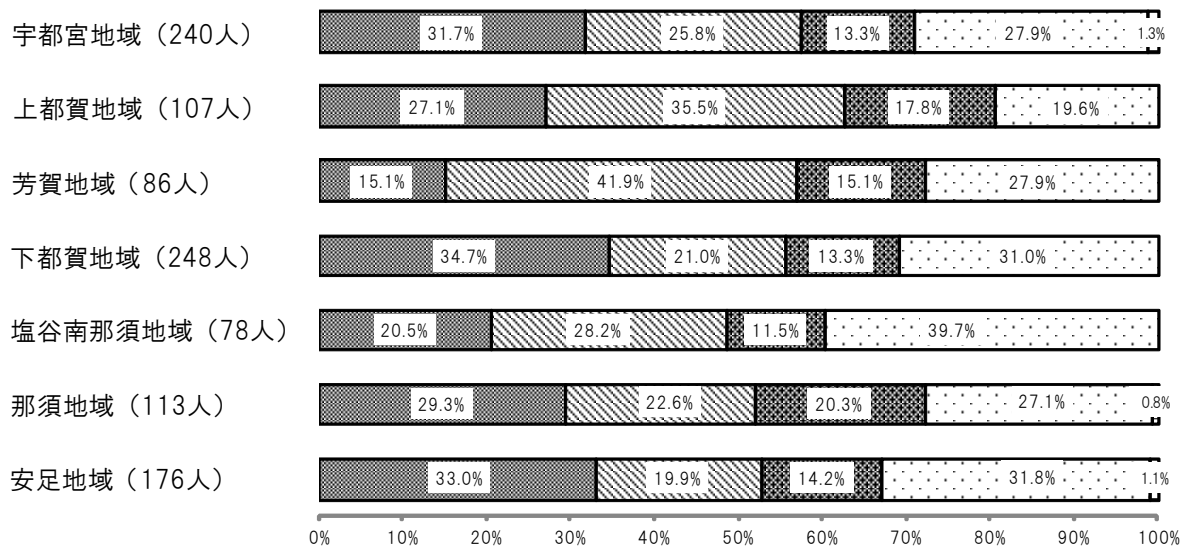
<男女別集計>

(n=1,105)



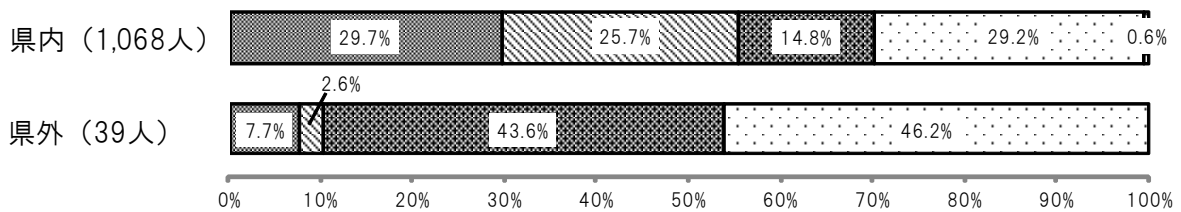
<県内地域別集計>

(n=1,068)



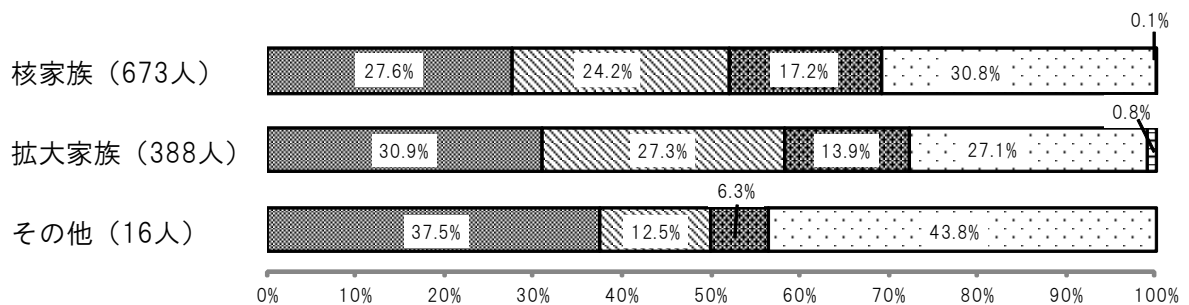
<県内・県外別集計>

(n=1,107)



<家族形態別集計>

(n=1,077)



(2) 栃木県内に「住みたい」と思う理由

概 括

- 栃木県内に「住みたい」（「住み続けたい・住んでみたい」又は「将来は戻ってきて住みたい」）と思う理由は、「住み慣れている」及び「家族や友人がいる」が上位に挙げられた。
- 男女別の比較では、男性は「住み慣れている」が女性と比較して、女性では「家族や友人がいる」が男性と比較して高かった。
- 居住地域別においても、「住みたい」と思う理由は、「住み慣れている」及び「家族や友人がいる」が上位に挙げられた。

【設 問】

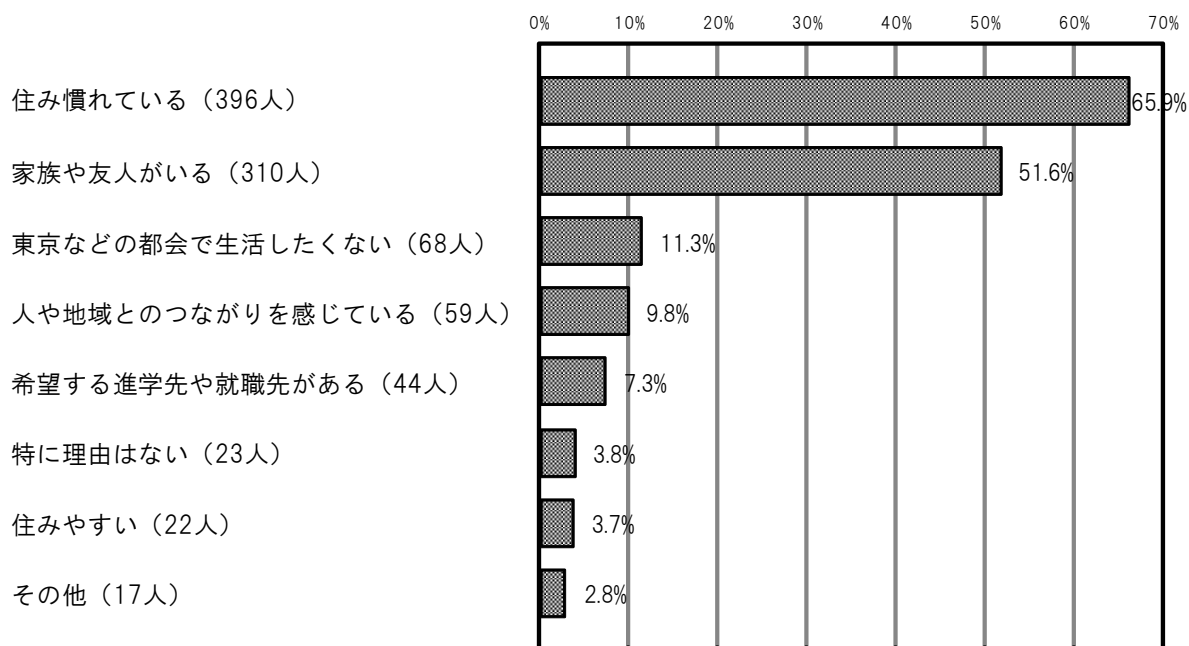
あなたが、栃木県内に住みたいと思う理由は何ですか？

【回答結果】

<全体集計>

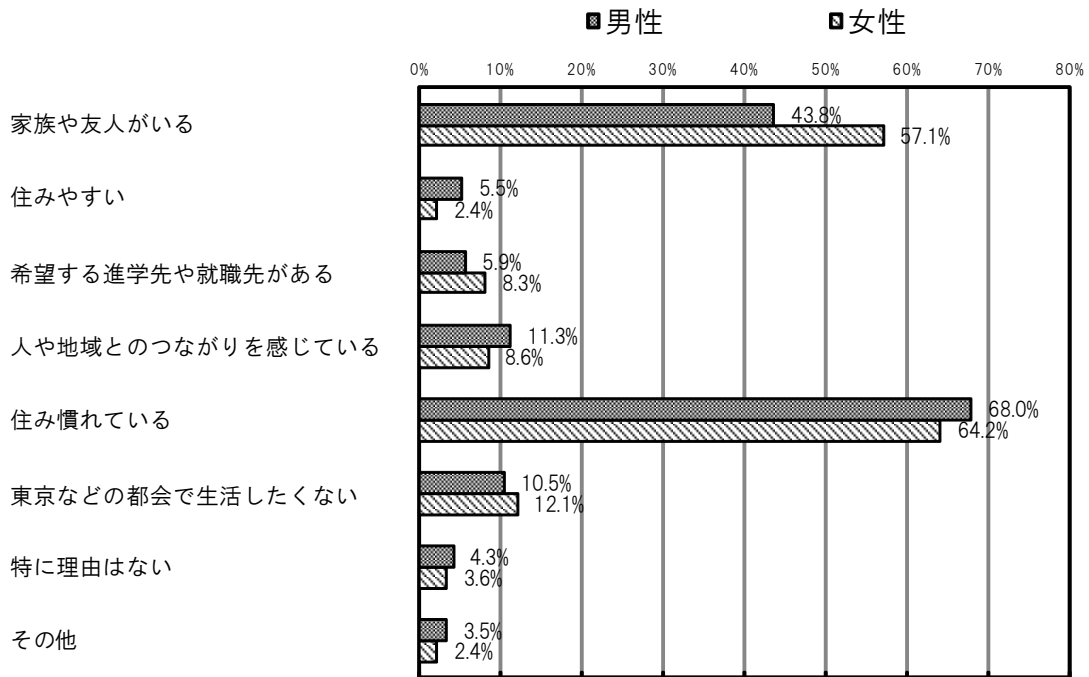
(n=939)

(複数回答)



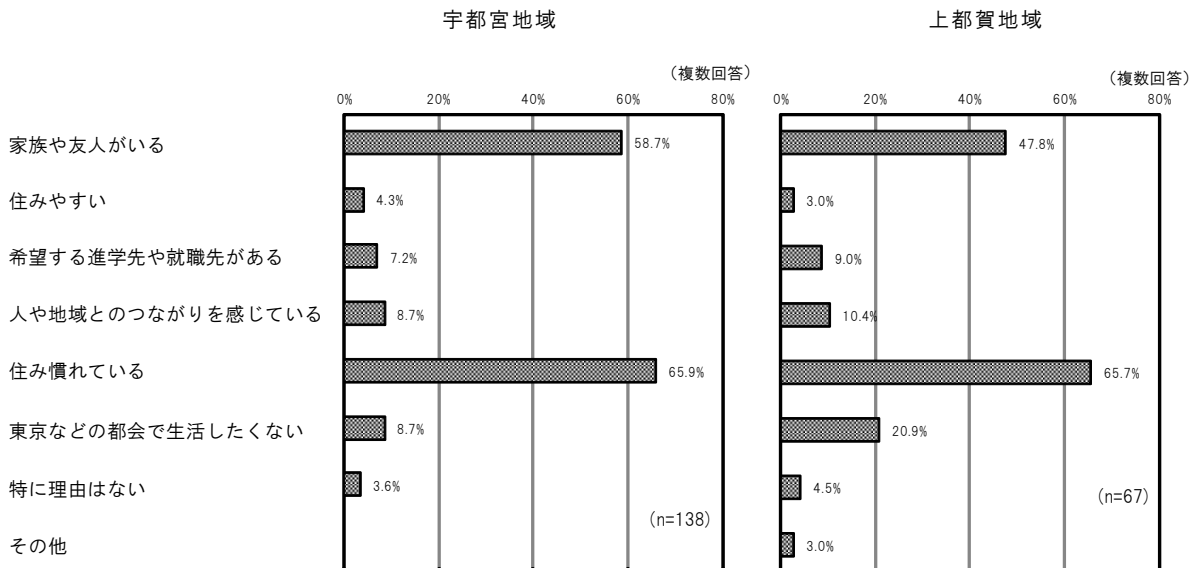
<男女別集計>

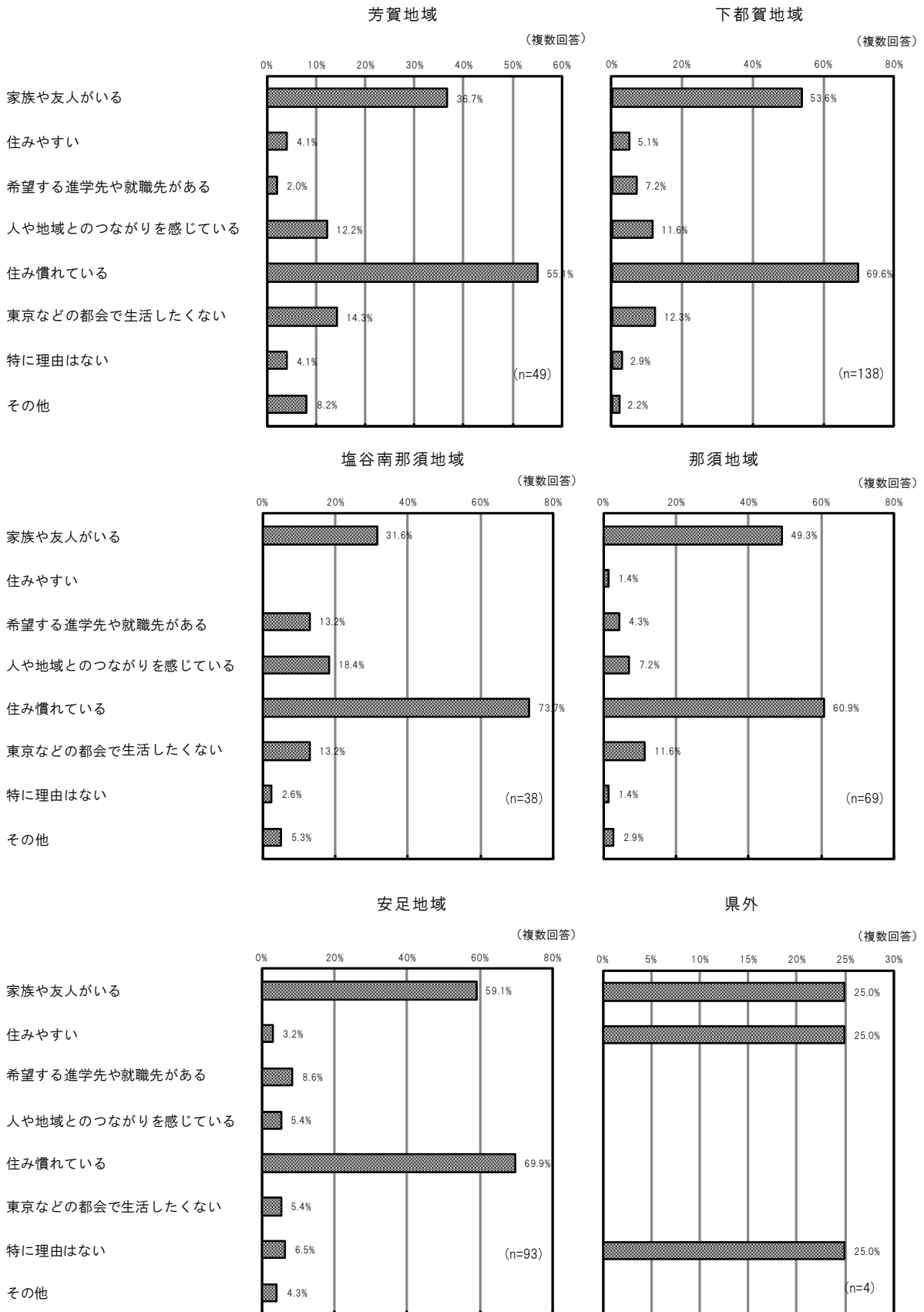
(n=927)



<県内地域別集計>

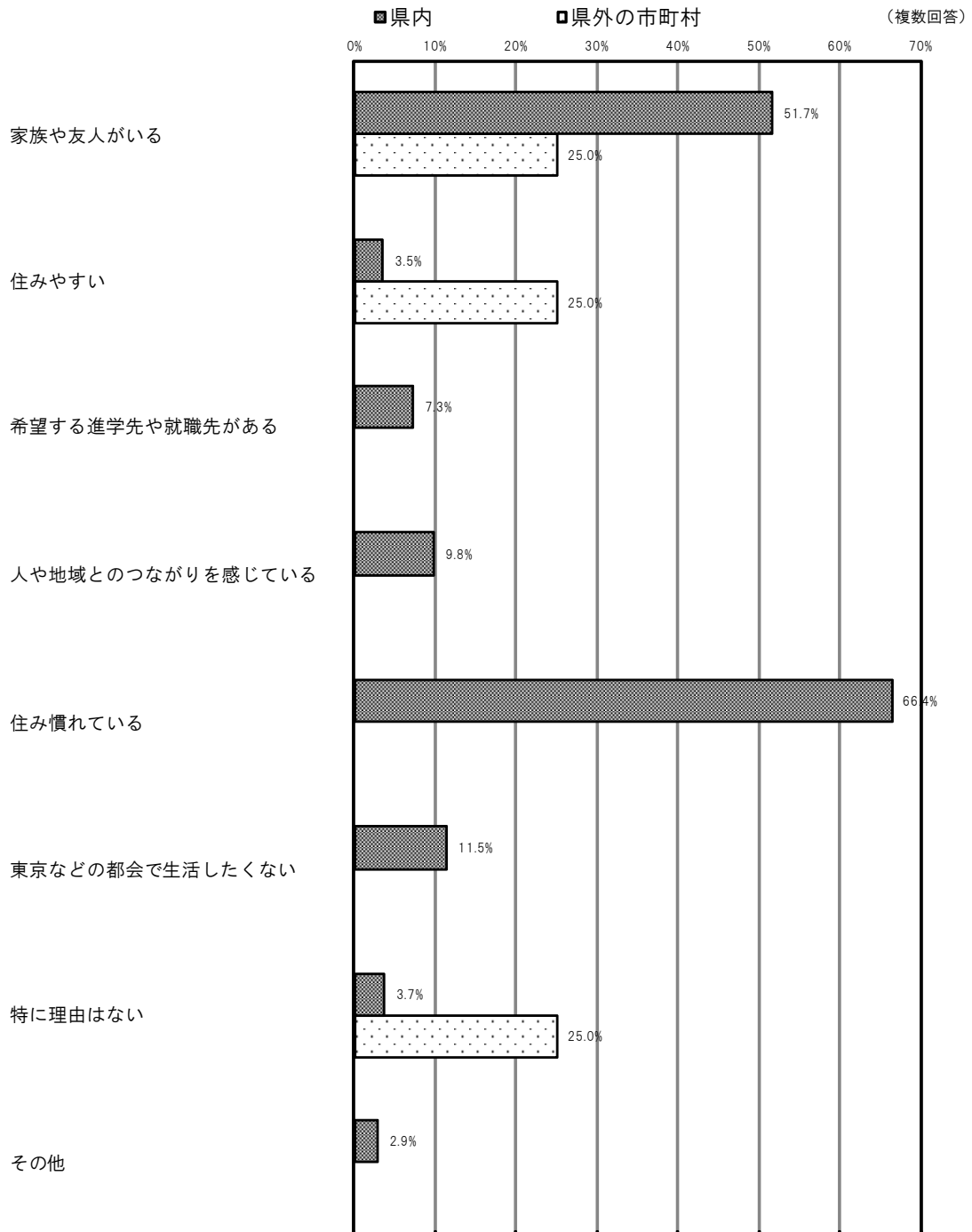
(n=596)





<県内・県外別集計>

(n=596)



<その他の主な内容>

- 栃木県が好きだから (塩谷南那須地域・男性 外1件)
- 自然環境が豊かだから (下都賀地域・女性 外10件)
- 災害が少ないから (安足地域・女性 外1件)
- 生まれ育ったところを大事にしていきたいから (上都賀地域・女性)

4 栃木県が「住みたい」・「住み続けたい」と思われる県になるために、今後、力を入れていく必要があると考える取組

概 括

- 栃木県が「住みたい」と思われる県になるために、今後、力を入れていくべきと考える取組として、「公共交通機関の充実」、「犯罪や交通事故の少ない地域づくり」、「活気あるまちづくり」が上位に挙げられた。
- 栃木県内に「住みたい」（「住み続けたい・住んでみたい」又は「将来は戻ってきて住みたい」）と思う者が、栃木県がより「住みたい」と思う県となるために力を入れていくべきと考える取組は、「公共交通機関の充実」、「犯罪や交通事故の少ない地域づくり」、「安心して子どもを産み育てられる支援の充実」が上位に挙げられた。
- 栃木県内に「住みたくない」と思う者が、栃木県が「住みたい」と思われる県となるために力を入れていくべきと考える取組は、「公共交通機関の充実」、「活気あるまちづくり」、「魅力ある職業や働く場の確保」が上位に挙げられた。

【設 問】

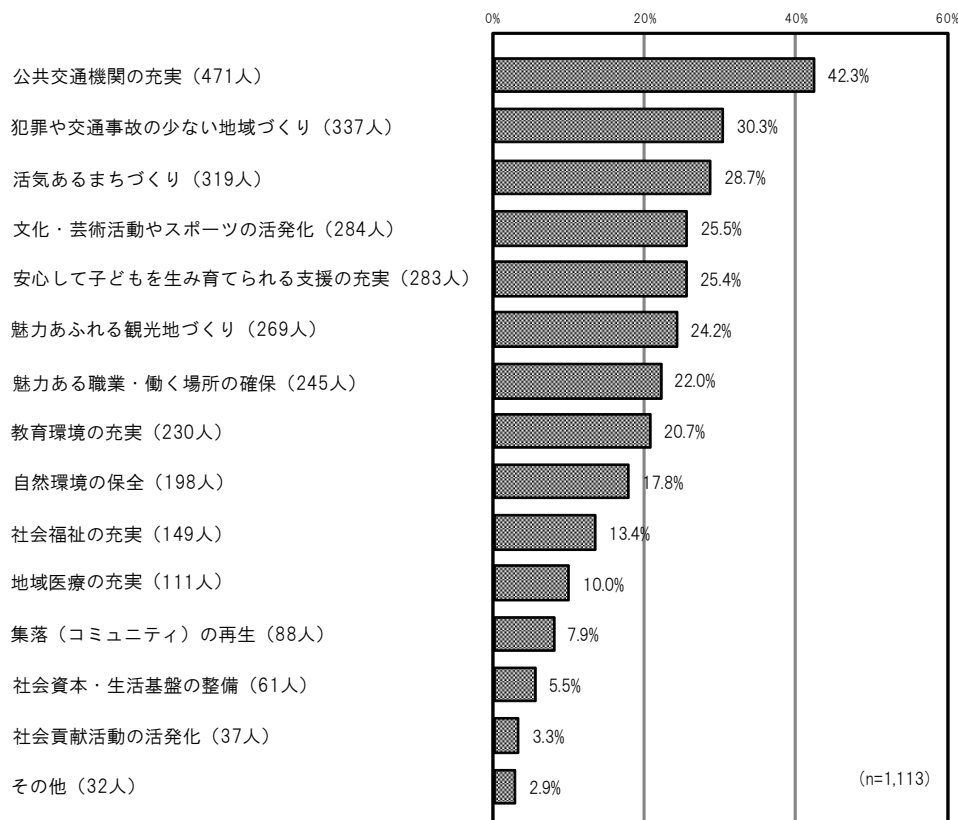
あなたは、栃木県が「住みたい」・「住み続けたい」と思われる県になるために、今後、どのような取組に力を入れていけばよいと思いますか？

【回答結果】

<全体集計>

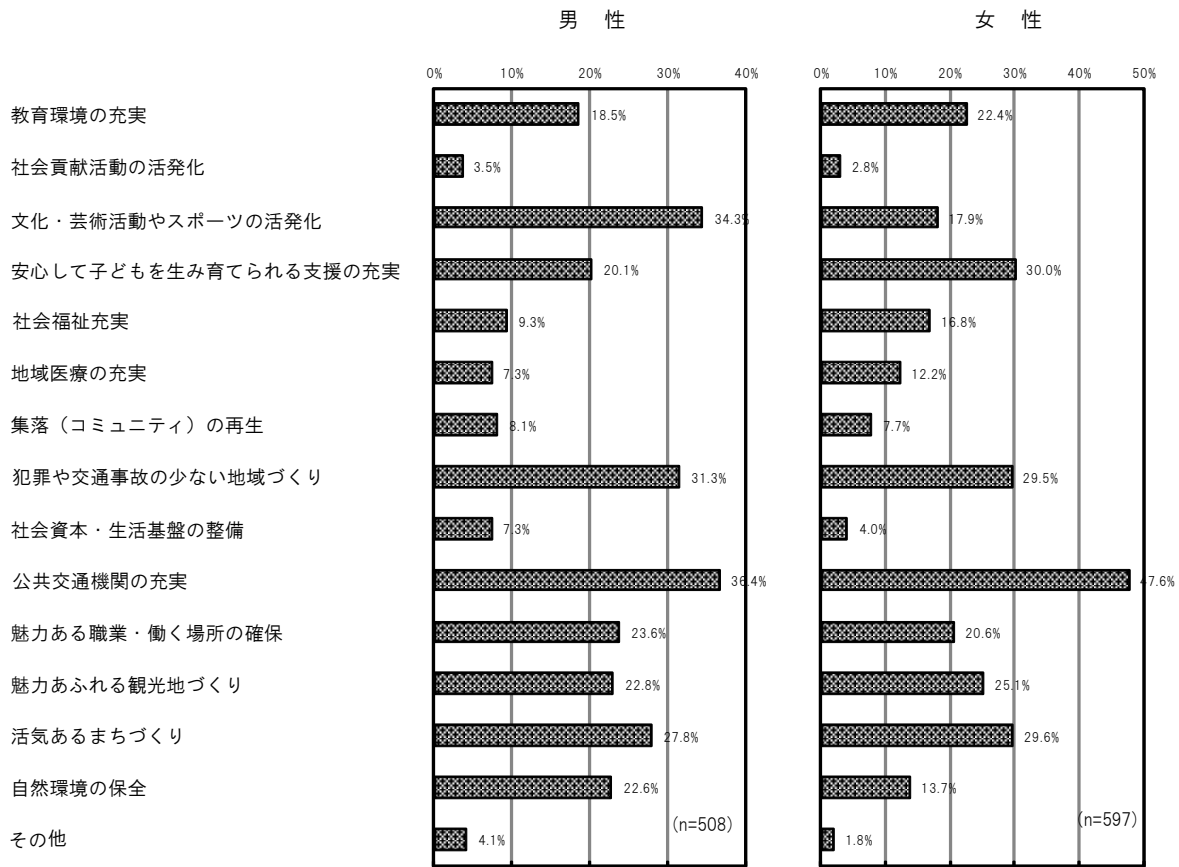
(n=1,113)

(複数回答)



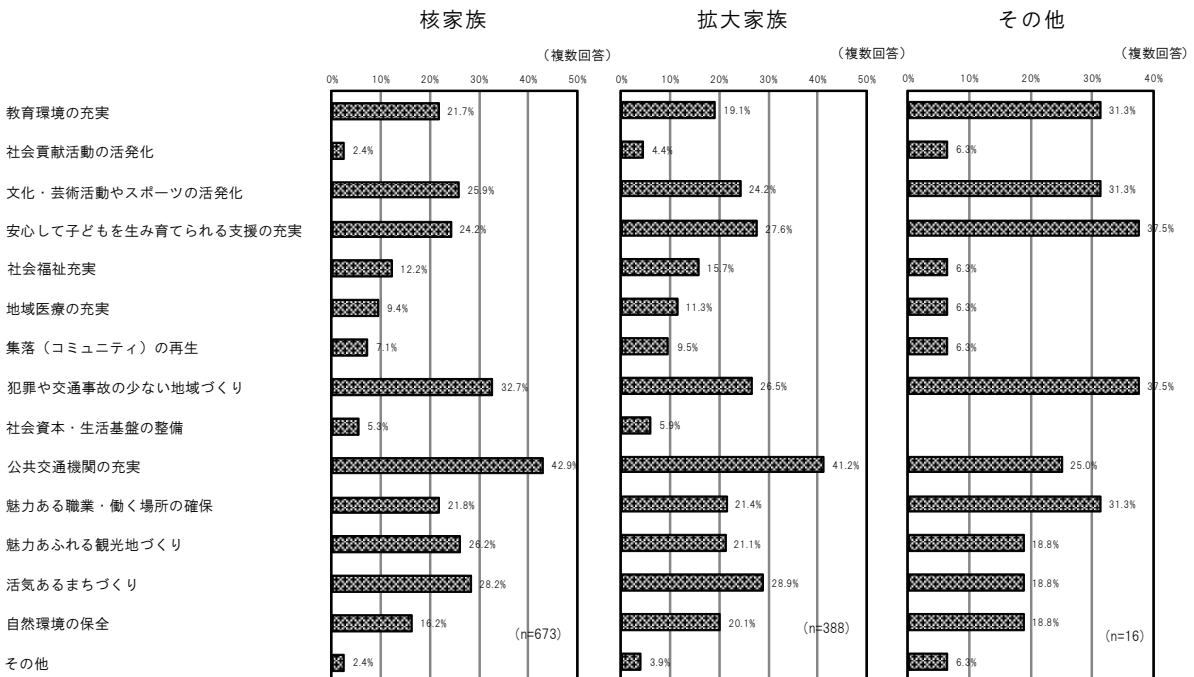
<男女別集計>

(n=1,105)



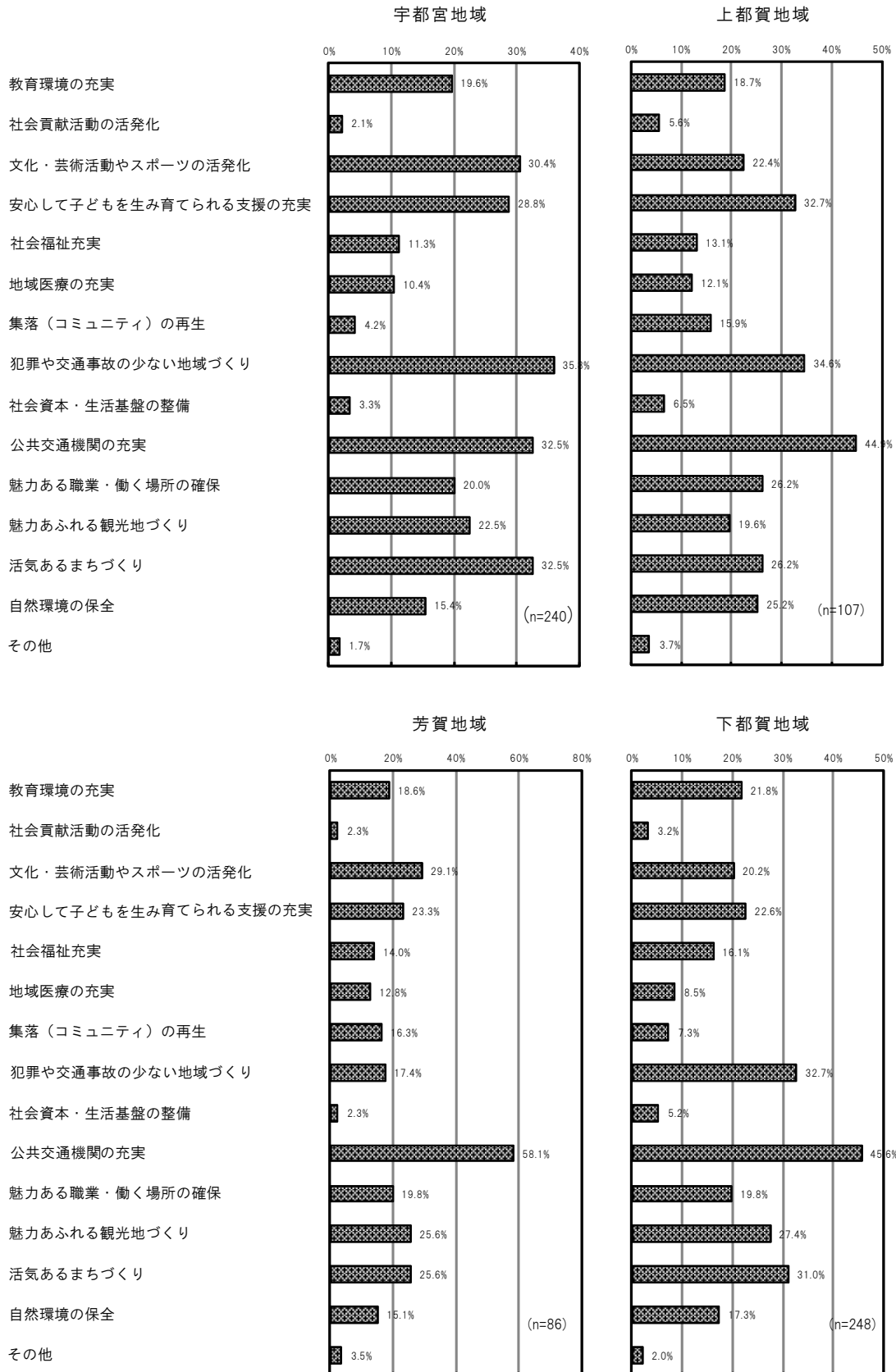
<家族形態別集計>

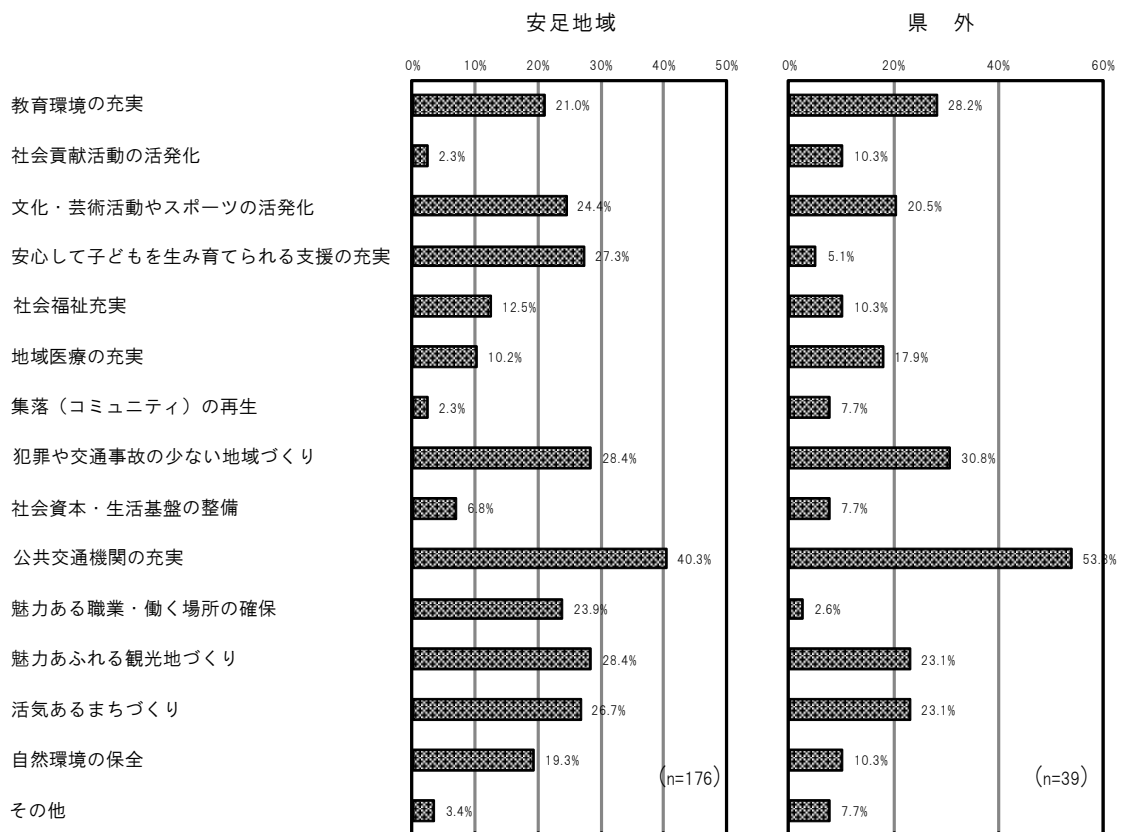
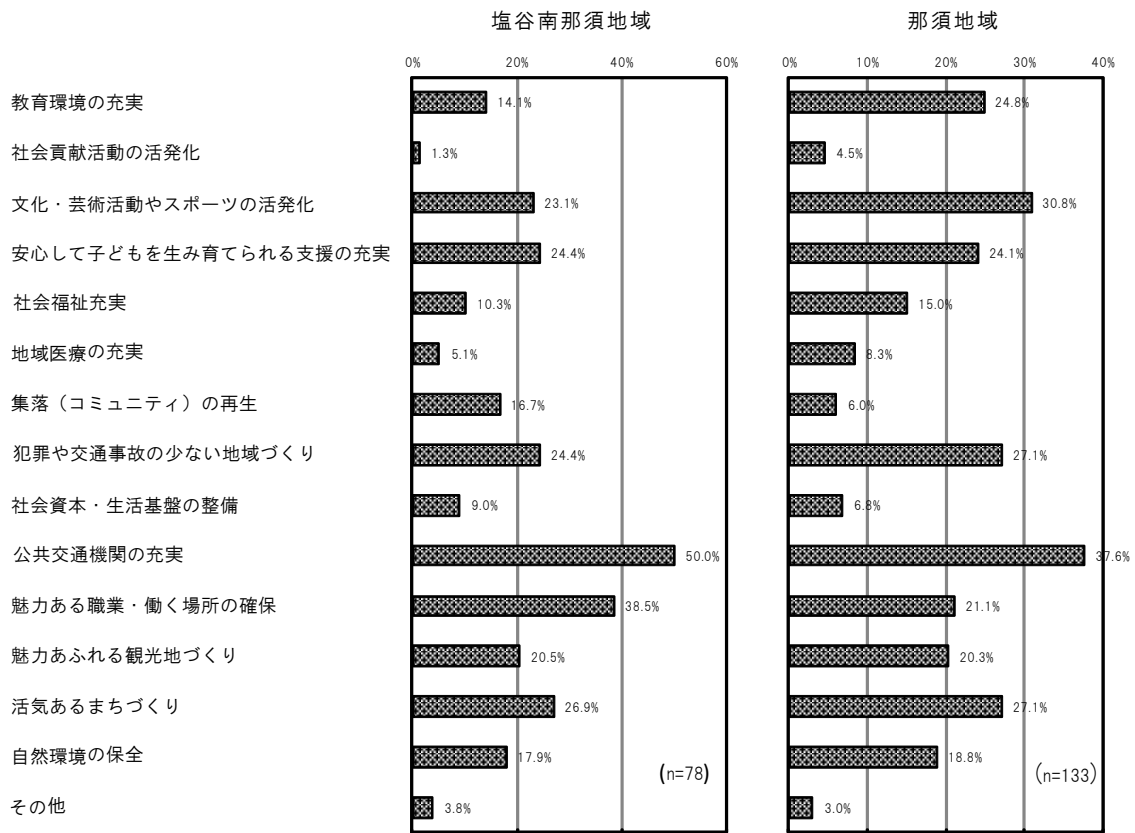
(n=1,077)



<県内地域別集計>

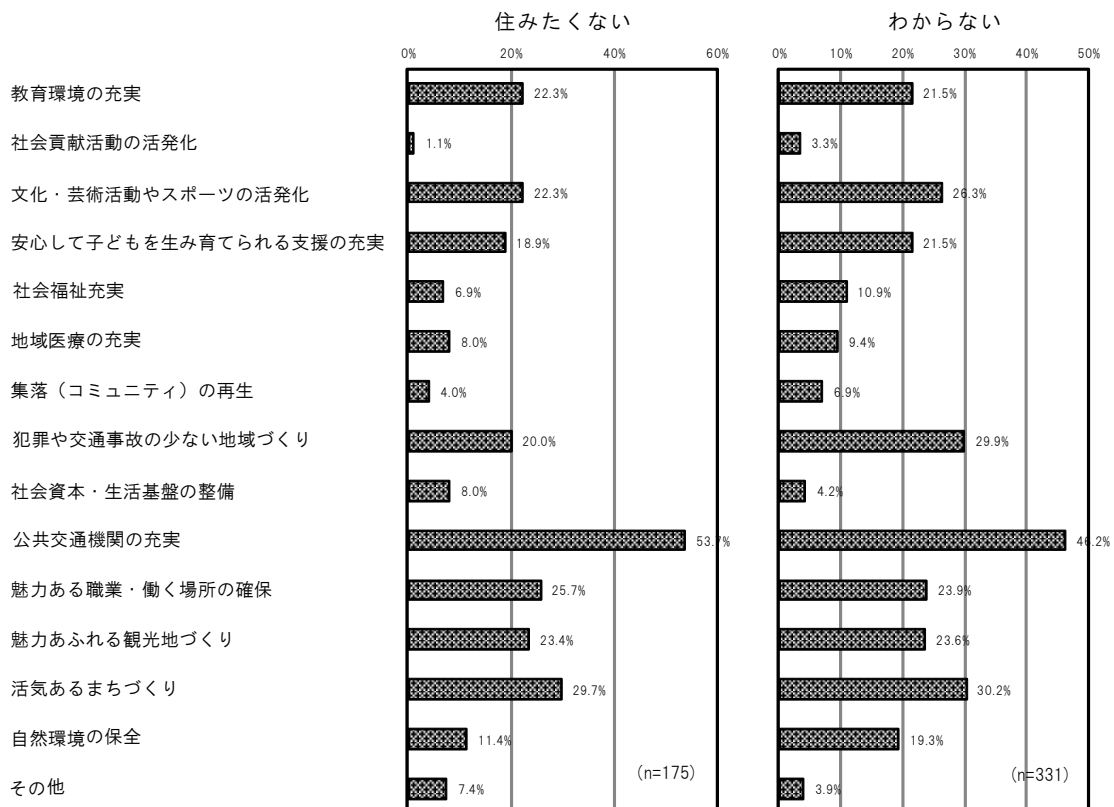
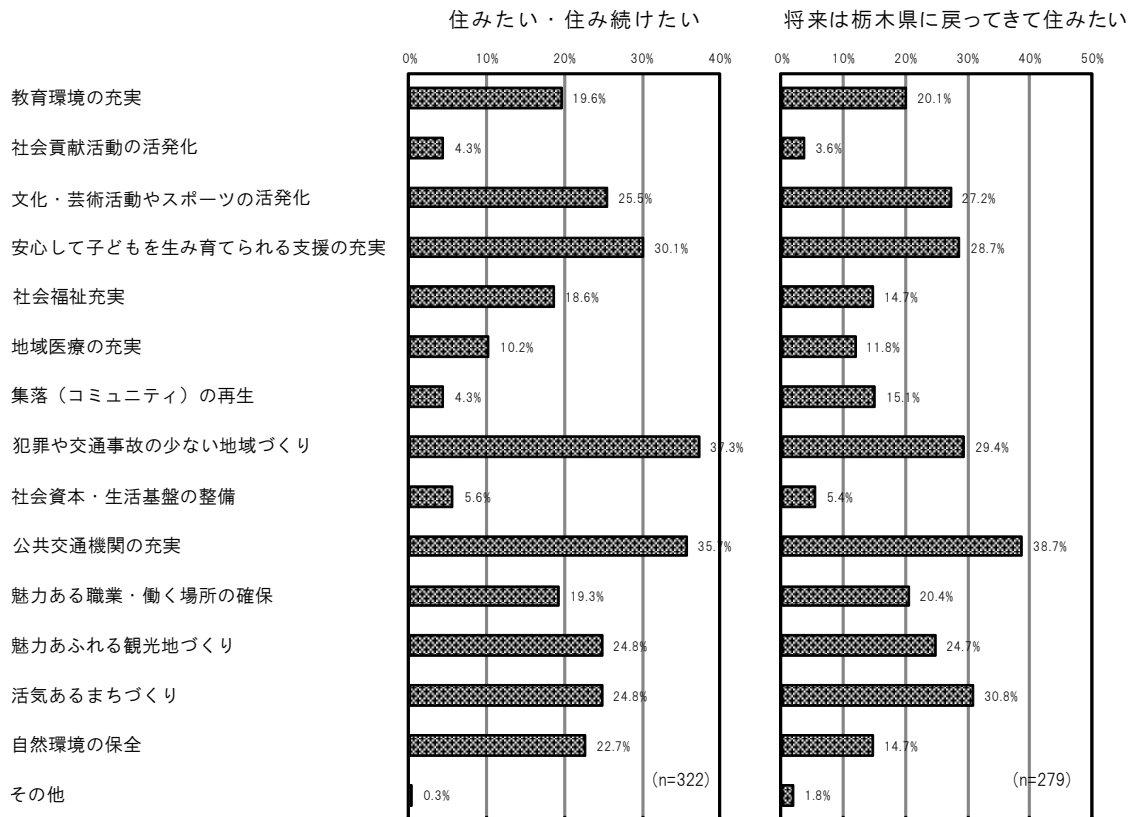
(n=1,107)



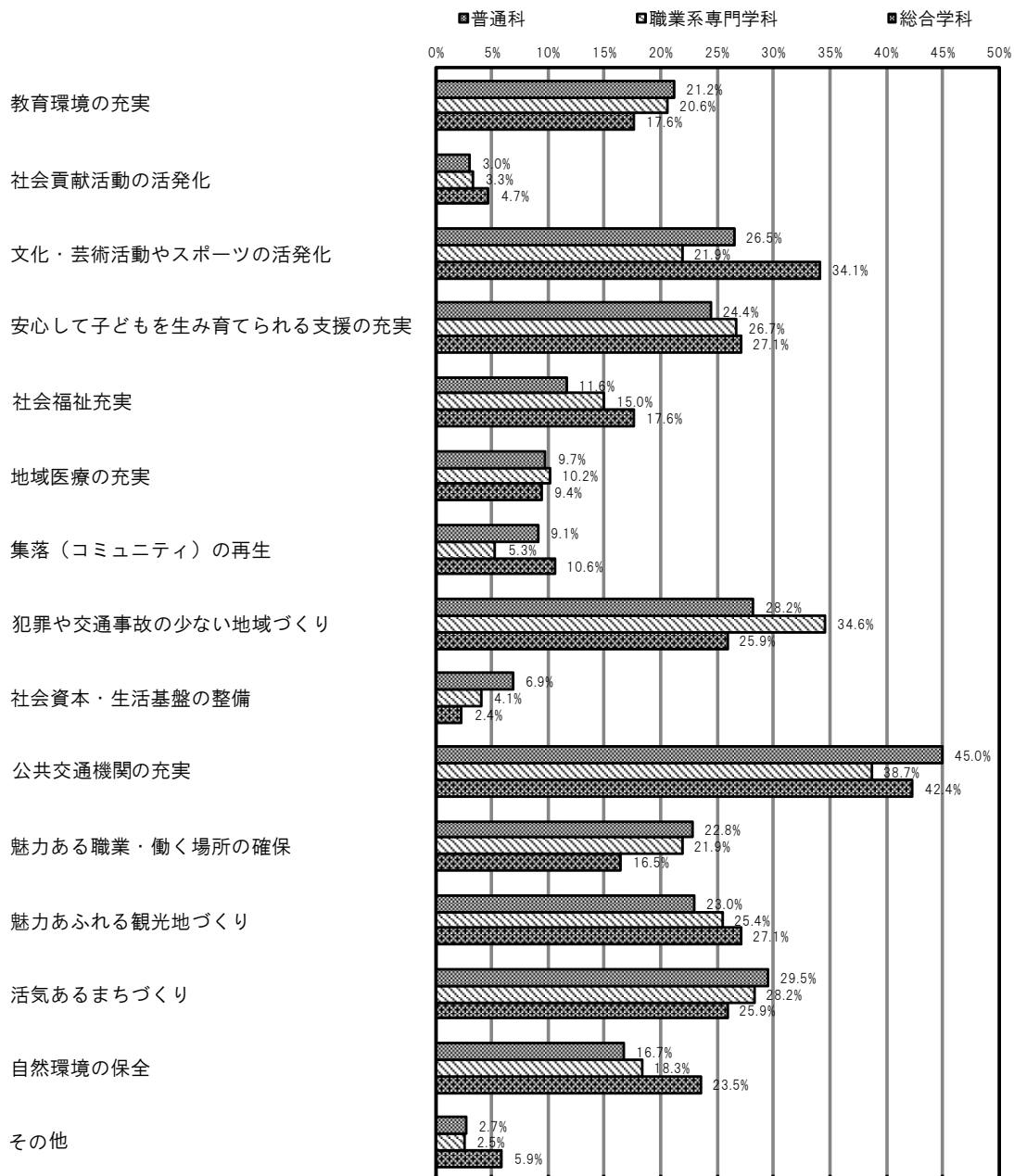


<問3 回答者別集計>

(n=1,107)



<専攻学科別集計>



<その他の主な内容>

- 方言や自然など、栃木県の良さを大事にしてほしい（上都賀地域・女性）
- 海外留学や国際交流の支援の充実（上都賀地域・男性）
- 商業施設や娯楽施設の充実（下都賀地域・女性 外11件）
- スポーツ施設の充実（那須地域・男性 外1件）
- 文化施設などの充実（塩谷南那須地域・女性）

5 これからの“とちぎ”づくりへの参加意欲

概 括

- 全体において、「“とちぎ”づくりに参加したい」（「積極的に何かしたい」又は「できる範囲で何かしたい」と回答した者の割合は約76%であり、前回調査結果の約70%と比較して、その割合は増加した。
- 男女別では、女性の方が男性より、「“とちぎ”づくりに参加したい」と回答した割合が高かった。
- 地域別では、宇都宮地域及び那須地域に居住する者の“とちぎ”づくりに参加したいと回答した割合が、他の地域と比較して、やや低かった。

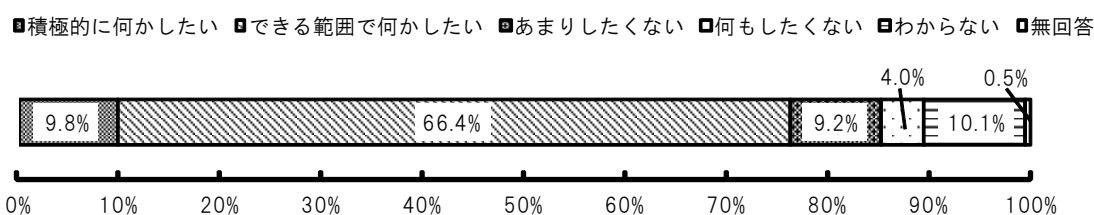
【設 問】

あなたは、栃木県をよりよくするため、地域活動やボランティア活動などの身近でできる活動を行っていきたいと思いますか？

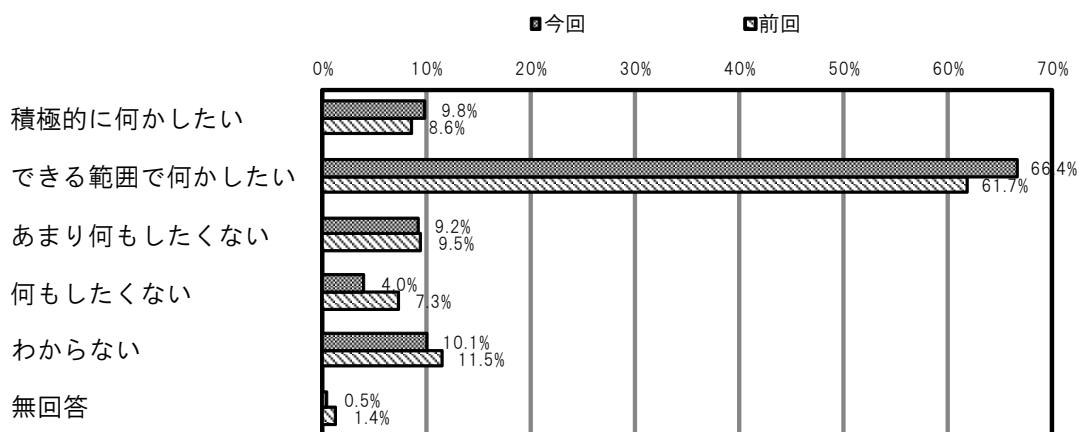
【回答結果】

〈全体集計〉

(n=1,113)

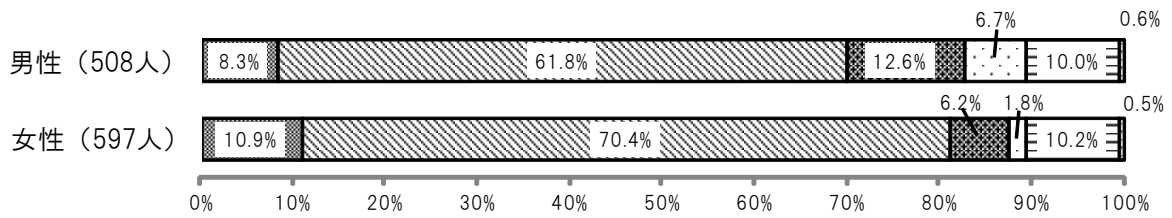


—参考：これからのとちぎづくりに関する若者意向調査結果(平成21年度)との比較—



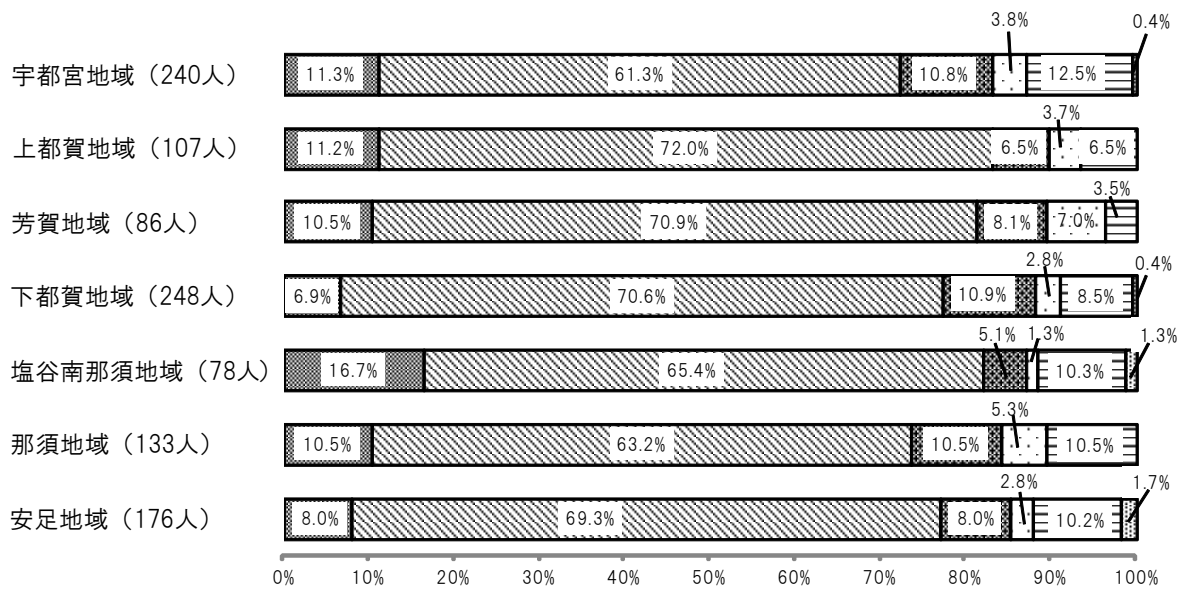
<男女別集計>

(n=1,105)



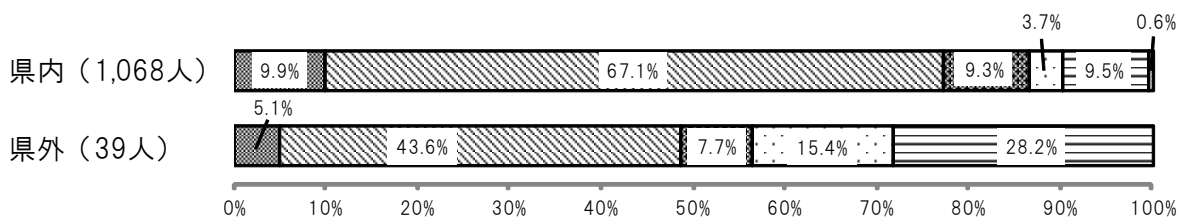
<県内地域別集計>

(n=1,068)



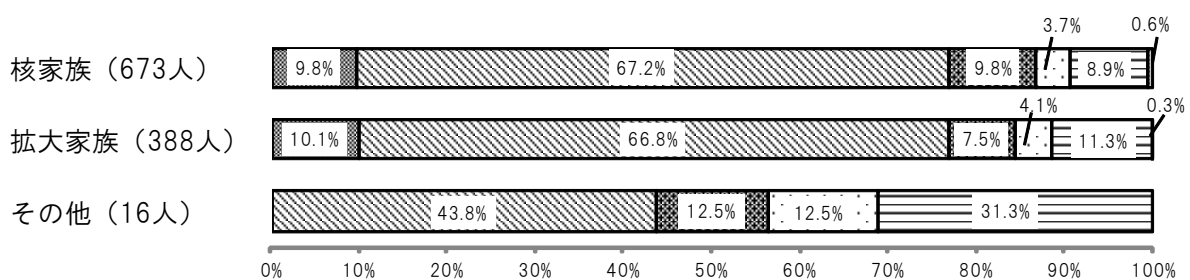
<県内・県外別集計>

(n=1,107)



<家族形態別集計>

(n=1,077)



6 県政や次期プランに関する主な自由意見

【教育】

- 教室へのエアコンの導入や、トイレの洋式化など、学校施設の環境を改善してほしい。
- グローバル化に対応するための留学支援などを充実してほしい。

〈性別・地域別意見数〉

(単位：件)

区分	宇都宮	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷朝須	那須	安足	県外	計
男性	0	1	0	2	0	0	0	0	3
女性	2	0	1	4	0	1	4	0	12
計	2	1	1	6	0	1	4	0	15

【スポーツ】

- スポーツ施設の充実
- プロスポーツの振興

〈性別・地域別意見数〉

(単位：件)

区分	宇都宮	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷朝須	那須	安足	県外	計
男性	4	1	0	4	0	1	5	0	15
女性	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	4	1	0	4	0	1	6	0	16

【子育て】

- 子育て支援を充実してほしい。
- 女性が働きながら、子育てできる環境を整備してほしい。

〈性別・地域別意見数〉

(単位：件)

区分	宇都宮	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷朝須	那須	安足	県外	計
男性	0	0	1	1	0	0	1	0	3
女性	1	0	0	1	0	0	0	0	2
計	1	0	1	2	0	0	1	0	5

【高齢者福祉】

- 高齢者へのデリバリーサービスなどを充実してほしい。
- 高齢者にやさしいまちづくりを推進してほしい。

〈性別・地域別意見数〉

(単位：件)

区分	宇都宮	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷那須	那須	安足	県外	計
男性	1	0	0	0	0	0	0	0	1
女性	2	0	0	0	0	1	0	0	3
計	3	0	0	0	0	1	0	0	4

【交通事故抑止・治安】

- 自転車を利用する学生も含め、交通マナーを向上し、交通事故を減らしてほしい。
- 治安が悪いところは、改善してほしい。

〈性別・地域別意見数〉

(単位：件)

区分	宇都宮	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷那須	那須	安足	県外	計
男性	1	1	1	3	0	0	2	0	8
女性	1	0	1	2	0	0	2	0	6
計	2	1	2	5	0	0	4	0	14

【公共交通】

- 電車・バスの増便など、公共交通を充実してほしい。

〈性別・地域別意見数〉

(単位：件)

区分	宇都宮	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷那須	那須	安足	県外	計
男性	8	7	3	9	3	1	4	1	36
女性	6	4	3	14	2	4	10	0	43
計	13	11	6	23	5	5	14	0	79

【商業・娯楽施設】

- 大型ショッピングモールなど、商業施設を充実してほしい。
- コンサートができる施設や遊園地などの娯楽施設を整備してほしい。

〈性別・地域別意見数〉 (単位：件)

区分	宇都宮	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷那須	那須	安足	県外	計
男性	1	0	0	4	1	0	9	0	15
女性	10	2	1	5	1	4	6	0	29
計	11	2	1	9	2	4	15	0	44

【地域活性化】

- 栃木県の良さをもっと積極的にアピールして、知名度を上げてほしい。
- 様々な地域の人たちと交流できるイベントなどを行い、地域を活気づけてほしい。

〈性別・地域別意見数〉 (単位：件)

区分	宇都宮	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷那須	那須	安足	県外	計
男性	3	1	1	0	0	1	0	0	6
女性	5	2	1	3	1	1	0	0	13
計	8	3	2	3	1	2	0	0	19

【環境】

- 栃木県の豊かな自然環境を大切にしてほしい。
- 環境美化活動にも積極的に取り組んでほしい。

〈性別・地域別意見数〉 (単位：件)

区分	宇都宮	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷那須	那須	安足	県外	計
男性	1	0	0	3	0	1	3	0	8
女性	1	1	0	1	0	1	0	1	5
計	2	1	0	4	0	2	3	1	13

Ⅲ 参 考 资 料

これからの“とちぎ”づくりに関する若者意向調査

御協力をお願い

県では、平成23年度からスタートした栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」に基づき、とちぎの将来像

「安心」「成長」「環境」をともにつくる、元気度 日本一 栃木県

の実現に向け、様々な取組を推進しています。

この「新とちぎ元気プラン」は、平成27年度で計画期間が終了することから、県では、平成28年度からの県政の基本指針となる次期プランの策定に着手しました。

そこで、栃木県を「住む人が住み続けたい」・「訪れる人が住んでみたい」と思う魅力ある県とするため、これからの“とちぎ”づくりを担う高校生の皆さんから、栃木県のイメージや今後、力を入れていく取組などについて、率直な御意見をお聞きしたいと考え、アンケート調査を実施することとしました。

皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

平成26年6月

栃木県知事 福田 富一

記入上の留意事項

- 1 この調査は、無記名式ですので、氏名を記入する必要はありません。
- 2 設問は、全部で5問あります。選択肢の中からあなたの考えに近いものを選び、黒のボールペンや濃い鉛筆などで、その番号に○をつけてください。
- 3 御回答いただいた内容は、この調査の目的以外に利用することはありませんので、日頃、考えていることをありのままにお答えください。



栃木県総合政策部総合政策課
TEL 028-623-2206
E-mail newplan@pref.tochigi.lg.jp



これからの“とちぎ”づくりに関する若者意向調査票

はじめに、あなた自身のことについて、お伺いします。
次の項目ごとに該当するものを1つ選び、○を記入してください。

① あなたの性別は？

1 男性

2 女性

② あなたの学ぶ学科は？

1 普通科（理数科、英語科、美術科、体育科などの専門学科を含む。）

2 職業系専門学科（農業系、工業系、商業系、家庭系、福祉系学科など）

3 総合学科

③ あなたの家族形態は？

1 核家族（あなたと親の2世代）

2 拡大家族（あなたと親、祖父・祖母などの3世代以上）

3 その他

④ あなたの住んでいる市町村は？

【県内】

1 宇都宮市

10 矢板市

19 芳賀町

2 足利市

11 那須塩原市

20 壬生町

3 栃木市

12 さくら市

21 野木町

4 佐野市

13 那須烏山市

22 塩谷町

5 鹿沼市

14 下野市

23 高根沢町

6 日光市

15 上三川町

24 那須町

7 小山市

16 益子町

25 那珂川町

8 真岡市

17 茂木町

【県外：市町村名を記入】

9 大田原市

18 市貝町

()

問1 あなたは、栃木県をどのように感じていますか？

次の項目ごとにあなたの考えに近いものを1つ選び、○を記入してください。

① 自然環境に恵まれている

1 そう思う

2 そう思わない

② 災害が少ない

1 そう思う

2 そう思わない

③ 商工業や農林業などの産業がバランスよく発展している

1 そう思う

2 そう思わない

④ 優れた歴史遺産や伝統文化がある

1 そう思う

2 そう思わない

⑤ 商業・娯楽施設や文化・スポーツ施設が整備されている

1 そう思う

2 そう思わない

⑥ 道路や公共交通機関などの交通網が発達している

1 そう思う

2 そう思わない

⑦ おいしい食べ物が豊富である

1 そう思う

2 そう思わない

⑧ 温泉や景勝地などの観光資源が豊富である

1 そう思う

2 そう思わない

⑨ 県民に人情味がある

1 そう思う

2 そう思わない

問 2 - 1

あなたは、あなたの住む、又は通学する栃木県や県内の市町村に対して、愛着や親しみを感じていますか？

次の中からあなたの考えに近いものを1つ選び、○を記入してください。

- 1 とても感じている
- 2 やや感じている
- 3 どちらでもない
- 4 あまり感じない 【 → 問 2 - 2 をお答えください。 】
- 5 全く感じない 【 → 問 2 - 2 をお答えください。 】

問 2 - 2

問 2 - 1 で「あまり感じない」・「全く感じない」と回答された方にお伺いします。

栃木県や県内の市町村に愛着を感じない理由について、次の中からあなたの考えに近いものを2つまで選び、○を記入してください。

- 1 他都道府県に誇れるものがないから
- 2 栃木県や県内の市町村のことをあまりよく知らないから
- 3 身近で買い物する場所や移動手段が少ないなど、生活が不便だから
- 4 人や地域とのつながりが薄いから
- 5 他都道府県出身だから
- 6 東京などの都会への憧れがあるから
- 7 特に理由はない・理由を考えたことがない
- 8 その他（具体的に _____)

問 3 - 1

あなたは、「これからも栃木県内に住みたい」又は「これから栃木県に住んでみたい」と思いますか？

次の中からあなたの考えに近いものを1つ選び、○を記入してください。

- 1 住み続けたい・住んでみたい【 → 問 3 - 2 をお答えください。 】
- 2 進学などのために一度は県外に出ても、将来は栃木県内に戻ってきて住みたい【 → 問 3 - 2 をお答えください。 】
- 3 住みたくない
- 4 わからない

問 3 - 2

問 3 - 1 で「住みたい」・「住んでみたい」と回答された方にお伺いします。

栃木県内に住みたいと思う理由について、次の中からあなたの考えに近いものを2つまで選び、○を記入してください。

- 1 家族や友人がいるから
- 2 商業施設や公共交通機関などが充実していて、住みやすいから
- 3 希望する進学先や就職先があるから
- 4 人や地域とのつながりを感じているから
- 5 住み慣れているから
- 6 東京などの都会で生活したくないから
- 7 特に理由はない・理由を考えたことがない
- 8 その他（具体的に _____)

問4 栃木県が、あなたが「住みたい/住み続けたい」・「住んでみたい」と思う県になるためには、今後、どのような取組に力を入れていけばよいと考えますか？
次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選び、○を記入してください。

- 1 学校施設の整備などの教育環境の充実
- 2 自治会などの地域活動やボランティア活動の活発化
- 3 文化・芸術活動やスポーツの活発化
- 4 安心して子どもを産み育てられる・女性が働きながら子育てができる支援の充実
- 5 高齢者や障害者が地域で安心して暮らせる社会福祉の充実
- 6 病院の整備や在宅医療の提供などの地域医療の充実
- 7 住民の高齢化や過疎化が進んでいる集落（コミュニティ）の再生
- 8 犯罪や交通事故が少ない安全な地域づくり
- 9 道路や河川などの社会資本や上下水道などの生活基盤の整備
- 10 電車やバスなどの公共交通機関の充実
- 11 魅力あるさまざまな職業・働き場所の確保
- 12 魅力あふれる観光地づくり
- 13 人が集まる活気あるまちづくり
- 14 森林や河川などの豊かな自然環境の保全
- 15 その他（具体的に _____)

問5 あなたは、栃木県をよりよくするために、地域活動やボランティア活動などの身近でできる活動を行っていきたいと思いますか？

次の中からあなたの考えに近いものを1つ選び、○を記入してください。

- 1 積極的に何かしたい
- 2 できる範囲で何かしたい
- 3 あまりしたくない
- 4 何もしたくない
- 5 わからない

県や次期プランに関する意見などがありましたら、自由に記入してください。

――― 御協力ありがとうございました ―――